



令和 5 年度

# 川崎市市民ミュージアム年報

KAWASAKI CITY MUSEUM ANNUAL REPORT 2023.4 - 2024.3

## 川崎市市民ミュージアム年報

## 目次

令和5年度年報の発行にあたって	3
概要	4
沿革	5
令和5年度 利用者統計表	6
展示・上映	
企画展	
昔のくらしと道具たち ー衣・食・住の移り変わりー	8
川崎宿 ー1623～2023ー	12
the 3rd Area of “C” ー3つめのミュージアムー	16
第57回 かわさき市美術展	22
川崎市市民ミュージアム ー誕生と軌跡ー	26
映画上映	
川崎市市民ミュージアム出張 タヤけ上映会	30
アニメ あらかると！ 音楽とフィルムが奏でるアニメーションの世界	32
教育普及	34
収集・貸出・特別利用	40
広報	47
資料	52



## 令和5年度年報の発行にあたって

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風による地下収蔵庫等の浸水被害により、外部支援団体をはじめ多くの方々からの御支援・御協力を賜り、被災した収蔵資料のレスキュー・修復活動を継続しています。一方で出張形式やオンラインでの博物館・美術館活動を行っており、展示等が特定の場所で出来ない困難な状況が続くなか、本ミュージアムの様々な活動を支えてくださっている皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年度は、川崎市民の創作活動の発表の場である「かわさき市美術展」をはじめ、9つの展覧会・上映会（6つは館外会場、3つは当館 Web サイト上）、5つのミュージアム講座（すべて当館 Web サイト上）、5つのワークショップ、史跡めぐりのほか、市内の小学校を対象に、多摩川の水の恵みを活かすため先人が作り上げ、江戸から昭和の時代にかけて川崎の人々の暮らしと経済を支えてきた「二ヶ領用水」を学ぶ社会科教育推進事業を行いました。

また事業には直接関連しませんが、本ミュージアムは昭和63年の開館以来親しまれてきた等々力緑地内から、令和5年10月に被災資料の応急処置機能と出張形式やオンライン展覧会を行うための事務機能を備えて麻生区内へ移転しました。

移転した本ミュージアム内には展示機能が無いため、活動内容を少しでも市民の方に分かりやすくお伝えできるよう、活動全体を「IN ACTION」（イン アクション）というテーマのもと展開していくこととしました。

「IN ACTION」とは「活動中」という意味になります。本ミュージアムとして活動している「今」が未来へのつながり、新たなミュージアムへの架け橋となっていく。そんな思いを込めています。

現在、検討を進めている新たなミュージアムが開設されるまでには、まだ多くの年月を要します。それまでの間、身近な場所で鑑賞や創作の機会を提供し、博物館・美術館が持つ価値と楽しさを市民の皆様と共有するとともに、川崎市で活動するコミュニティの一員として、本ミュージアムと市民、事業者等の皆様と互いに連携を深め様々な活動を行っていくことが、期待されている役割のひとつであると考えています。

公共・民間を問わず、本ミュージアムと連携をお考えの団体・施設の方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけいただければ幸いです。

今後とも、被災資料のレスキュー活動・修復と博物館・美術館活動の継続・充実のため、スタッフ一同全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

令和6年3月

館長 蛭川 泰行

## 概要

都市は、その形成過程において、さまざまな人が集まることにより次々と新しい文化を生み出している。川崎市民ミュージアムは 1988(昭和63)年 11 月、「都市と人間」を基本テーマに開館し、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品の収集・調査・研究・展示などの活動を行ってきた。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、映像といった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象にした基本テーマの追求は当館の特色である。

なお、令和元年東日本台風の被害により施設、設備や収蔵品が被災したため、旧施設を閉鎖、市北部の麻生区に展示機能が無い事務所として移転し、被災収蔵品のレスキュー活動と共にアウトリーチによる展示や教育普及事業などを継続して実施しているほか、引き続き Web 上での活動を展開している。

### トーマス転炉（日本鋼管 現 JFE 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。1937（昭和 12）年から 1957（昭和 32）年まで稼働し、日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献した。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

## 沿革（開館まで）

### 1980（昭和55）年

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）  
漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

### 1981（昭和56）年

川崎市博物館基本構想を策定  
現代映像文化センター基本構想を策定

### 1982（昭和57）年

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）し、同時に展示基本計画書を策定  
現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

### 1983（昭和58）年

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、  
収集事業がスタート  
両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

### 1985（昭和60）年3月

建築基本設計を完了

### 1985（昭和60）年3月

展示基本設計を完了

### 1985（昭和60）年4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

### 1985（昭和60）年11月

建築実施設計を完了

### 1986（昭和61）年3月

展示実施設計を完了

### 1986（昭和61）年3月

建築工事着手

### 1987（昭和62）年7月

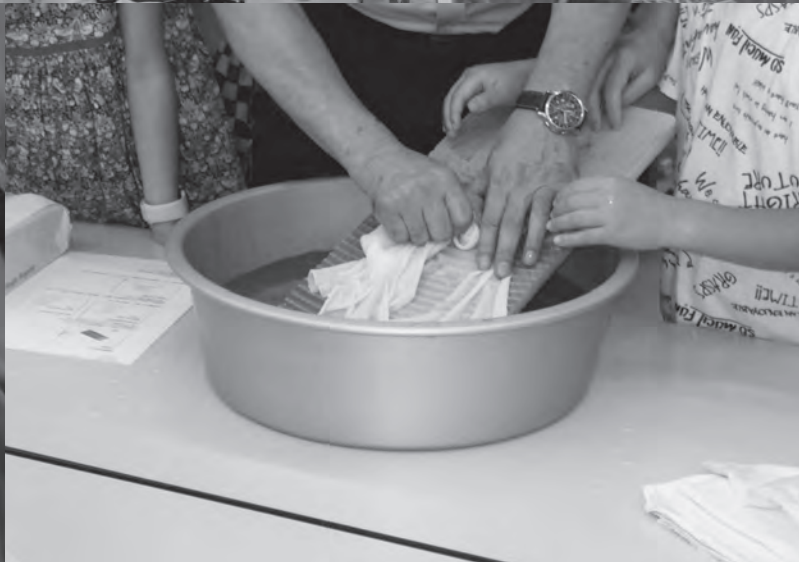
展示工事着手  
川崎市市民ミュージアム条例を制定

### 1988（昭和63）年11月

川崎市市民ミュージアム開館

# 令和5年度 利用者統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
館外展示入館・出張プログラム等	0	0	472	1715	1048	465	3138	3144	398	2585	1328	495	14788
合計	0	0	472	1715	1048	465	3138	3144	398	2585	1328	495	14788
利用者累計		0	472	2187	3235	3700	6838	9982	10380	12965	14293	14788	



展示 · 上映





## 企画展

# 昔の暮らしと道具たち —衣・食・住の移り変わり—



会場	川崎市大山街道ふるさと館 展示室・スロープ
会期	2023年6月24日(土) ~ 2023年9月3日(日)
日数	72日間
入場者数	2,349人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
共催	川崎市大山街道ふるさと館

衣・食・住は人間が生活をしていく基本となるものであり、いずれも今も昔も人々の暮らしに無くてはならないものである。衣食住を含む「暮らし」の様子は時代とともに変化していくが、特に昭和期は不景気や戦争など多くの困難を乗り越えて、次第に世の中が豊かになっていく時代であった。また、昭和30年代以降、家電製品が多く登場し、広く使われるようになると人々の生活は大きく変化していった。

本展では、衣類・食物・住居の3つのテーマに注目し、川崎市内で実際に使用されていた生活道具、家電製品などを、写真パネルを含め約137点展示し、昭和期を中心にその前後の時代と比較しながら、それぞれの変化について紹介した。

A4 チラシ 50,000部

B3 ポスター 200部

## 関連イベント

### 昔のおもちゃで遊んでみよう！

講師 川崎市市民ミュージアム学芸員、川崎市大山街道ふるさと館職員

日時 2023年7月15日(土) 10:00～11:30

会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール

主催 川崎市市民ミュージアム

参加者数 36名

### 夏休みふるさと発見講座「昔の道具を使ってみよう！」

講師 林 花音 (川崎市市民ミュージアム学芸員)

日時 2023年8月5日(土) 10:00～12:00

会場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール

主催 川崎市大山街道ふるさと館

参加者数 28名

### さわれるシネマ ～8ミリフィルムカメラで撮影と現像をしてみよう～

講師 石川 亮氏 (映像作家)、南 俊輔氏 (美術作家)

日時 2023年8月6日(日) 10:00～14:00

2023年8月11日(金・祝) ①9:45～14:00 ②14:45～17:00

会場 川崎市大山街道ふるさと館 3階会議室

主催 川崎市市民ミュージアム

参加者数 1日目 7組16名

2日目 7組16名

昔のくらしと道具たち 一衣・食・住の移り変わり― 出品リスト

番号	資料名	主な使用時期	撮影・製造元・製造年	所蔵・撮影
<b>プロローグ 変わりゆくくらし ※</b>				
<b>衣</b>				
1	菅の一族 菅の実家の庭	78 年前	昭和 20 年 (1945)	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
2	東門前駅通り	71 年前	昭和 27 年 (1952)	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
3	高津区長尾 稚児の松	64 年前	昭和 34 年 (1959)	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
<b>食</b>				
4	新肥料の施用によって増産をめざす多摩川梨	約 90 年前	昭和 5 年 (1930)	川崎市公文書館
5	菅 梨モギ取	71 年前	昭和 27 年 (1952)	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
6	(農作業風景)	約 60 年前	昭和 34 年 (1959) 頃	川崎市公文書館
7	岩崎酒店	①約 40 年前 ②約 25 年前	①昭和 55 年 (1980) 頃 ②平成 9 年 (1997) 頃	川崎市大山街道ふるさと館
8	稲毛屋金物店	①約 40 年前 ②約 25 年前	①昭和 59 年 (1984) 頃 ②平成 9 年 (1997) 頃	川崎市大山街道ふるさと館
<b>住</b>				
9	多摩川で釣り	70 年前	昭和 28 年 (1953)	川崎市大山街道ふるさと館
10	(海での釣り遊び)	—	—	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
11	(結婚式の様子)	—	—	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
12	東門前屋敷 鯉幟	—	—	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
13	灰吹屋薬局	①約 70 年前 ②約 40 年前 ③約 25 年前	①昭和 25 年 (1950) 頃 ②昭和 59 年 (1984) 頃 ③平成 9 年 (1997) 頃	川崎市大山街道ふるさと館
14	川崎ビル(1 階中央デパート)入口(夜景)	69 年前	昭和 29 年 (1954)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
15	京浜急行線踏切 (電車通過中)・市役所通り	69 年前	昭和 29 年 (1954)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
16	休日の校庭で遊ぶ (古市場小学校)	69 年前	昭和 29 年 (1954)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
17	キャッチボール	68 年前	昭和 30 年 (1955)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
18	川治屋 (銀柳会)	68 年前	昭和 30 年 (1955)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
19	(夜景)	68 年前	昭和 30 年 (1955)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
20	ペーゴマ	67 年前	昭和 31 年 (1956)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
21	ママゴト	67 年前	昭和 31 年 (1956)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
22	ゴム跳び	67 年前	昭和 31 年 (1956)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
23	指定都市川崎誕生	51 年前	昭和 47 年 (1972)	川崎市公文書館
24	田園都市線溝ノ口駅前「ヤストモ」	約 70 年前	昭和 30 年 (1955) 頃	川崎市大山街道ふるさと館
25	武蔵溝ノ口駅	約 70 年前～50 年前	昭和 25 年 (1950)～45 年 (1970) 頃	川崎市市民ミュージアム
26	JR 川崎駅裏 (西口)	① 34 年前 ② 28 年前	①昭和 63 年 (1988) ②平成 7 年 (1995)	倉形泰造氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
<b>第 1 章 衣</b>				
27	天野屋呉服店 ※	—	—	川崎市公文書館
<b>1-1 裁縫と装い</b>				
28	くけ台	100 年以上前～50 年前	—	川崎市市民ミュージアム
29	裁縫箱	100 年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
30	足踏みミシン ※	約 70 年前～50 年前	服部時計店電機部 (現 セイコーホールディングス株式会社) 製	川崎市市民ミュージアム
31	ミニミシン	約 70 年前～50 年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
32	電動ミシン	約 50 年前～	—	個人
33	着物	100 年以上前～	—	川崎市大山街道ふるさと館
34	既製服	約 60 年前～	—	個人
35	鏡台	100 年以上前～	—	川崎市大山街道ふるさと館
36	すき櫛	約 100 年前～35 年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
<b>1-2 シワ伸ばし</b>				
37	張り板 ※	100 年以上前～70 年前	—	川崎市市民ミュージアム
38	シンシ	100 年以上前～70 年前	—	川崎市市民ミュージアム
39	ひのし	100 年以上前～70 年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
40	ガスアイロン	約 100 年前～55 年前	東京瓦斯株式会社 (現 東京ガス株式会社) 製	川崎市市民ミュージアム
41	電気アイロン	約 70 年前～	昭和 36 年 (1961) 東京芝浦電気 (現 株式会社東芝) 製	川崎市市民ミュージアム
42	スチームアイロン	約 60 年前～	東京芝浦電気 (現 株式会社東芝) 製	川崎市市民ミュージアム
<b>第 2 章 食</b>				
43	松葉屋 (雨の日) ※	69 年前	昭和 29 年 (1954)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
44	八百屋 (現・小島卓蔵商店) ※	67 年前	昭和 31 年 (1956)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
45	街道沿いの魚屋 (魚松) ※	33 年前	平成 2 年 (1990)	川崎市大山街道ふるさと館
<b>2-1 煮炊き</b>				
46	かまど (復元模型) ※	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム
47	薪	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム
48	火吹き竹	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム
49	火箸	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム
50	台十能	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム
51	炭入れ	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム
52	消し壺	100 年以上前～60 年前	—	川崎市市民ミュージアム

番号	資料名	主な使用時期	撮影・製造元・製造年	所蔵・撮影
53	電気コンロ	約60年前～	昭和37年(1962) 東芝製	東芝未来科学館
54	米あげざる	100年以上前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
55	羽釜	100年以上前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
56	釜敷	100年以上前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
57	電気炊飯器	約65年前～30年前	昭和48年(1973) 東芝製	川崎市市民ミュージアム
58	電気ジャー	約65年前～35年前	象印マホービン製	川崎市市民ミュージアム
59	電気炊飯ジャー	約35年前～	昭和49年(1974) ホクセイ製	川崎市市民ミュージアム
60	せいろ	100年以上前～50年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
61	蒸し器	約60年前～	—	川崎市市民ミュージアム

## 2-2 食卓の様子

62	飯茶碗	100年以上前～	—	川崎市大山街道ふるさと館
63	汁椀	100年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
64	小鉢	100年以上前～	—	川崎市大山街道ふるさと館
65	箸	100年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
66	箱膳	100年以上前～約85年前	—	川崎市市民ミュージアム
67	会席膳	100年以上前～約85年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
68	銚子	100年以上前～約85年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
69	盃	100年以上前～約85年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
70	(結婚式の様子) ※	—	—	倉形泰造氏撮影(川崎市立中原図書館提供)
71	おひつ	100年以上前～50年前	—	川崎市市民ミュージアム
72	おひつ入れ ※	100年以上前～50年前	—	川崎市大山街道ふるさと館
73	飯かご	約100年前～50年前	—	川崎市市民ミュージアム
74	しゃもじ	100年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
75	蠅帳	約100年前～50年前	—	川崎市市民ミュージアム
76	ハエ取り器	約100年前～70年前	大正4年(1915)～昭和20年(1945) 尾張時計株式会社(現 尾張精機株式会社)製	川崎市大山街道ふるさと館
77	ハエとりピン	約100年前～50年前	—	川崎市市民ミュージアム
78	ちゃぶ台 ※	約100年前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
79	座布団 ※	100年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
80	湯呑み茶碗	100年以上前～	—	川崎市大山街道ふるさと館

## 第3章 住

### 3-1 季節の道具

81	団扇	100年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
82	扇子	100年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
83	籐枕	約140年前～	—	川崎市市民ミュージアム
84	陶枕	100年以上前～70年前	—	川崎市市民ミュージアム
85	蚊取り線香	約100年前～	—	川崎市市民ミュージアム
86	蚊遣り	約100年前～	—	川崎市市民ミュージアム
87	扇風機 ※	約55年前～	—	川崎市市民ミュージアム
88	やぐらこたつ ※	100年以上前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
89	あんか	約100年前～50年前	—	川崎市市民ミュージアム
90	豆炭	約140年前～50年前	—	川崎市市民ミュージアム
91	湯たんぼ	約100年前～	—	川崎市市民ミュージアム
92	石油ストーブ ※	約60年前～	大正～昭和初期	川崎市市民ミュージアム
93	電気ストーブ ※	約60年前～	昭和31年(1956) 松下電器産業(現 パナソニック株式会社)製	川崎市市民ミュージアム
94	黄金カイロ	約60年前～30年前	—	川崎市市民ミュージアム
95	ランプ	100年以上前～	—	川崎市大山街道ふるさと館

### 3-2 団地の始まり

96	旧国道通り ※	—	—	川崎市公文書館
97	堀川町国鉄踏切 ※	昭和初期	—	川崎市公文書館
98	市役所屋上からの東田町のヤミ市 ※	77年前	昭和21年(1946)	川崎市公文書館
99	大師河原ポンプ場 ※	—	—	川崎市公文書館
100	六郷ポンプ場 ※	約55年前	昭和43年(1968)頃	川崎市公文書館
101	丸子ポンプ場 ※	約55年前	昭和43年(1968)頃	川崎市公文書館
102	渡田町営住宅 ※	—	—	川崎市公文書館
103	市営住宅受付風景 於労働会館 ※	66年前	昭和32年(1957)	倉形泰造氏撮影(川崎市立中原図書館提供)
104	南平・初山団地 ※	約60年前	昭和38年(1963)頃	川崎市公文書館
105	市政だより 「市営住宅750戸の入居者を募集」	36年前	昭和62年(1987)8月1日	川崎市大山街道ふるさと館

## 第4章 三種の神器

### 4-1 衣

106	洗濯板	約100年前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
107	たらい	100年以上前～60年前	—	川崎市市民ミュージアム
108	洗濯 ※	68年前	昭和30年(1955)	小串嘉男氏撮影(川崎市立中原図書館提供)
109	電気洗濯機	約60年前～	松下電器産業(現 パナソニック株式会社)製	川崎市市民ミュージアム
110	二槽式洗濯機	約50年前～	昭和60年(1985) 松下電器産業(現 パナソニック株式会社)製	川崎市市民ミュージアム

番号	資料名	主な使用時期	撮影・製造元・製造年	所蔵・撮影
<b>4-2 食</b>				
111	氷式木製冷蔵庫	約 100 年前～ 50 年前	昭和 25 年 (1950)	川崎市市民ミュージアム
112	電気冷蔵庫	約 60 年前～	昭和 33 年 (1958) 日立製	川崎市市民ミュージアム
113	2 ドア冷蔵庫	約 50 年前～	昭和 58 年 (1983) 日立製	川崎市市民ミュージアム
<b>4-3 住</b>				
114	ラジオ	約 100 年前～	—	川崎市市民ミュージアム
115	白黒テレビ	約 70 年前～ 45 年前	—	川崎市市民ミュージアム
116	電器店で自作テレビを見る家族と近所の人達 ※	67 年前	昭和 31 年 (1956)	小串嘉男氏撮影 (川崎市立中原図書館提供)
117	カラーテレビ	約 60 年前～ 10 年前	平成 4 年 (1992) ソニー製	個人
<b>番外編 暮らしを記録する</b>				
118	フィルムカメラ	約 60 年前	昭和 36 年 (1961) オリンパス製	個人
119	35 ミリフィルムカメラ	約 40 年前～ 25 年前	昭和 55 年 (1980) ニコン製	個人
120	コンパクトカメラ	約 30 年前～	①平成 2 年 (1990) リコー製 ②平成 13 年 (2001) ニコン製 ③平成 17 年 (2005) キヤノン製 ④平成 22 年 (2010) オリンパス製	個人
121	ポータブルビデオデッキ	約 35 年前～ 15 年前	平成 14 年 (2002) ソニー製	個人
122	携帯電話	約 35 年前～	平成 19 年 (2007) NTT ドコモ製	個人
123	ポータブルメディアプレーヤー	約 20 年前～約 10 年前	平成 22 年 (2010) Apple 製	個人
124	8 ミリフィルム (シングル 8 現像済み)	約 60 年前～約 45 年前	富士フィルム製	個人
125	8 ミリフィルムスプライサー (FUJICA SPLICER DELUXE)	約 60 年前～約 45 年前	富士フィルム製	個人
126	カートリッジ式 8 ミリフィルム (シングル 8 FUJI FILM)	約 60 年前～約 45 年前	富士フィルム製	個人
127	8 ミリフィルム映写機 (FUJICA M40)	約 35 年前～	富士フィルム製	個人
128	8 ミリフィルム編集機 (FUJICA EDITOR E55)	約 35 年前～	富士フィルム製	個人
129	カートリッジ式 8 ミリフィルム (スーパー 8 KODAK)	約 60 年前～約 45 年前	イーストマン・コダック製	個人
130	シングル 8 カメラ (FUJICA P1)	約 60 年前～約 45 年前	富士フィルム製	個人
131	シングル 8 カメラ (FUJICA Z2)	約 35 年前～	富士フィルム製	個人
132	スーパー 8 カメラ (KODAK INSTAMATIC M12)	約 60 年前～約 45 年前	イーストマン・コダック製	個人
133	スーパー 8 カメラ (CANON CANONSOUND 514XL-S)	約 60 年前～約 45 年前	キヤノン製	個人
134	神奈川ニュース・川崎市政ニュース	約 60 年前	昭和 25 年 (1950) ～平成 19 年 (2007) 神奈川ニュース映画協会	川崎市市民ミュージアム
134-1	新しい警察	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-2	火事の季節来る	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-3	春だ！みどりだ！	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-4	お母さん達のお勉強 育児学級	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-5	カメラルポ 母子寮	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-6	町の有線放送	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-7	工都に市営最大の住宅群	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-8	完成近いマンモス団地	約 60 年前	昭和 27 年 (1952) ～ 40 年 (1965)	川崎市市民ミュージアム
134-9	造成すすむ岡上営農団地	約 50 年前	昭和 49 年 (1974)	川崎市市民ミュージアム
<b>体験コーナー 昔の道具を使ってみよう！</b>				
135	おままごとセット	100 年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
136	そろばん	100 年以上前～	—	川崎市市民ミュージアム
137	黒電話	約 55 年前～ 20 年前	—	川崎市市民ミュージアム

※が付いている資料は垂れ幕もしくはパネル展示。



## 【企画展】

# 川崎宿 — 1623～2023 —



会場	東海道かわさき宿交流館 3階 企画展示室
会期	2023年10月1日(日)～11月26日(日)
日数	49日間
入場者数	4,246人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
共催	東海道かわさき宿交流館

2023年は、川崎宿が起立されてから400周年を迎える。これを機に川崎宿に焦点を当てた企画展を開催した。江戸時代の川崎宿は東海道の主要な宿場の一つであり、現在の川崎市の基礎の一つともなっているが、その実態は史料が少ないこともあり、わかっていないことが多い。今回の展示では、当館の常設展で展示されてきた史料に、これまで紹介されてこなかった史料を加えて、可能な限り川崎宿の実態に追った。今回は特に、徳川家茂の上洛や明治天皇の東幸などを紹介し、幕末から明治維新の川崎宿が終焉を迎える時代について焦点を当てている。

A4 チラシ 35,000部  
B3 ポスター 200部  
図録 1,000部

### 関連イベント

#### オンライン史跡めぐり「川崎宿 その跡をめぐる」

講師 高嶋 修一氏（青山学院大学経済学部教授）、鈴木 勇一郎（川崎市市民ミュージアム学芸員）

期間 2023年9月25日（月）10：00～2024年3月29日（金）16：00 ※ Web サイトで配信

視聴回数 476回

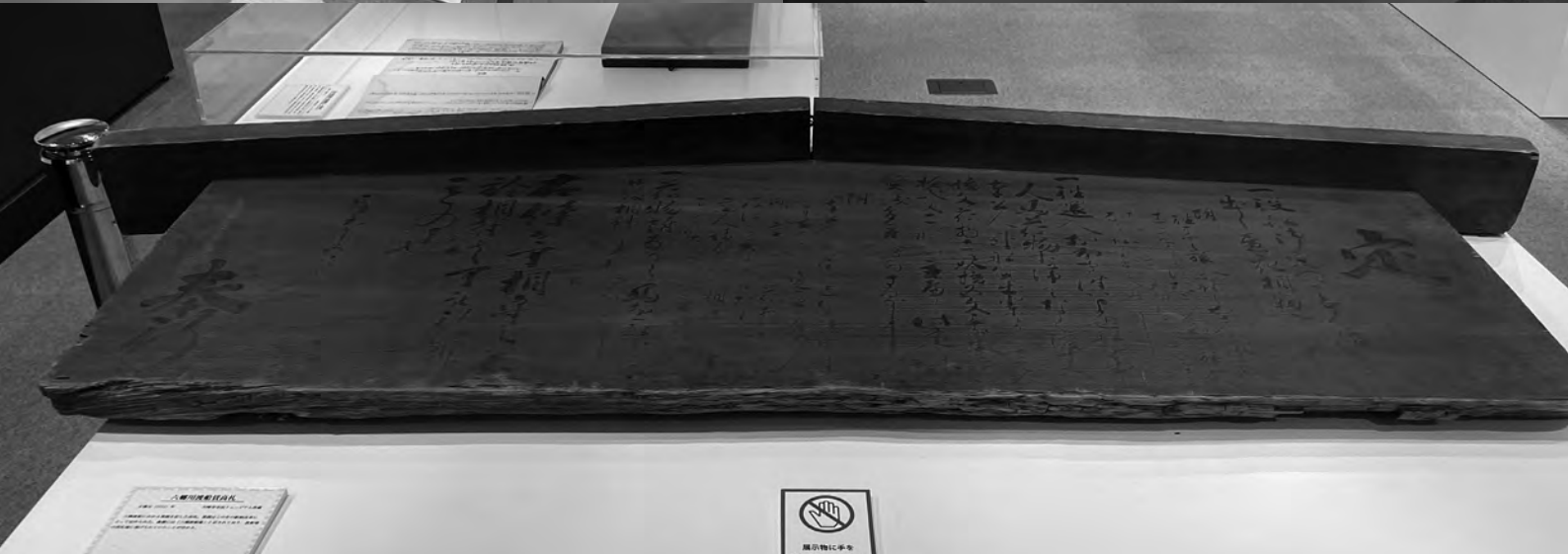
#### 講演「江戸時代の旅と食」

講師 山本 志乃氏（神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科教授）

日時 2023年11月4日（土）14：00～16：00

会場 東海道かわさき宿交流館 4階 集会室

参加者数 40名



川崎宿—1623~2023— 出品リスト

番号	資料名	年代	所蔵・備考
<b>1 川崎宿の起立</b>			
1	川崎年代記録 上	安永元（1772）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2	「加藤遠江守宿」関札	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
3	松平肥前守様関札一件控	天保7（1836）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
4	助郷札	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
5	沓番人足寄帳（上番稲毛領）	文久2（1862）年	個人蔵
6	乍恐以書付御訴訟奉申上候	文久3（1863）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
7	御用留	寛政4（1792）～寛政10（1798）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
8	宿方明細帳	天保14（1843）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
9	東海道絵巻（部分）※	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
10	東海道川崎宿模型	—	川崎市市民ミュージアム所蔵
<b>2 田中休愚と六郷渡船</b>			
11	六郷川渡船賃高札	正徳元（1711）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
12	川崎宿船場町絵図（複製）	明和2（1765）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
13	東海道五十三次 三 川崎※	文化年間（1804～1818）	川崎市市民ミュージアム所蔵
14	東海道五十三次之内 川崎 六郷の渡し船（行書東海道）※	天保年間（1830～1844）	川崎市市民ミュージアム所蔵
15	東海道 三 五十三次 川崎（隷書東海道）※	嘉永年間（1848～1854）	川崎市市民ミュージアム所蔵
16	川崎 六郷の渡し（東海道五十三次山図絵）※	嘉永元（1848）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵
17	東海道六郷渡真景※	文久3（1863）年	国会図書館所蔵（デジタルアーカイブ）
18	川崎宿大師河原真景※	天保年間（1830～1844）	国会図書館所蔵（デジタルアーカイブ）
<b>3 川崎宿の諸相</b>			
19	東海道分間絵図	元禄16（1703）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
20	浪花講看板	江戸時代後期	川崎市市民ミュージアム所蔵
21	大坂浪花講鑑札（複製）	江戸時代後期	東海道かわさき宿交流館所蔵
22	東海道中膝栗毛（複製）	享和2（1802）～文化11（1814）年	東海道かわさき宿交流館所蔵
23	河崎万年屋奈良茶飯（江戸名所図会）※	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
24	万年屋模型	—	川崎市市民ミュージアム所蔵
25	奈良茶飯模型	—	川崎市市民ミュージアム所蔵
26	旅行用心集（複製）	文化7（1810）年	東海道かわさき宿交流館所蔵
27	小田原提灯（複製）	—	東海道かわさき宿交流館所蔵
29	煙管	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
30	煙草入れ	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
31	矢立	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
32	携帯用口ウソク立て（懐中燭台）	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
33	財布（紙入）	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
34	早道	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
35	水筒	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
36	旅枕	江戸時代	川崎市市民ミュージアム所蔵
<b>4 幕末自身の激動と川崎宿の終焉</b>			
37	今般御上洛二付書上宿図	文久3（1863）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
38	下乗札	明治元（1868）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
39	主上御東幸之節玉川舟はしの図	明治元（1868）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
40	六郷川渡船賃額高札	明治12（1879）年	川崎市市民ミュージアム所蔵
41	川崎駅全体之図	明治7（1874）年頃	川崎市市民ミュージアム所蔵

※は写真パネルによる展示





## the 3rd Area of “C” —3 つめのミュージアム—

Web サイト内の「the 3rd Area of “C”—3 つめのミュージアム—」にて、3 つの展覧会をオンラインで開催した。

今年度は、新民謡が普及した背景を紹介した「新民謡と町おこし —多摩川音頭と川崎地域—」、川崎市内在住の彫刻家・大島康幸の作品を紹介する「大島康幸展」、同じく市内在住の現代美術家・折元立身による「折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024」を公開した。

### 新民謡と町おこし —多摩川音頭と川崎地域—



会期	2023年7月28日(金) 10:00～ 2024年3月29日(金) 15:00
日数	246日間
ページビュー数	2,499回
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム

当館は、令和2年度に北原白秋が作詞した新民謡『多摩川音頭』の自筆原稿を新たに収蔵した。新民謡とは、大正から昭和初期にかけて、地域おこしのために全国各地で盛んに作られた「ご当地ソング」である。現在の川崎市域でも数多くの新民謡が作られたが、『多摩川音頭』はその嚆矢となったもので、当時の稲田村（現・川崎市多摩区）の青年団が中心となり制作された。

本展では、全国に新民謡が普及していった背景や『多摩川音頭』をはじめとする新民謡が川崎地域に伝播していった過程を23点の資料画像とともに紹介した。

A4 チラシ 12,000部  
B3 ポスター 100部



# 大島康幸展



会期 2023年10月5日(木) 10:00 ~  
 2024年3月29日(金) 15:00  
 日数 177日間  
 ページビュー数 3,646回  
 観覧料 無料  
 主催 川崎市市民ミュージアム

川崎市在住の彫刻家・大島康幸（1962～）の作品を紹介する展覧会。大島は動物の表皮を木彫で表現した、シリーズ「FAKE FUR」で知られる。「FAKE FUR」では、モチーフとなった動物の頭部や手足は非常にリアルに彫り上げられているが、胴体にあるはずの骨や肉の表現はない。くたたりとした表皮の褻ひだやたるみが、そこにあるはずのかたちを観る者に喚起させる。

本展はこの「FAKE FUR」のほか、「時間（とき）の衣」、「始まり」の計3つのシリーズを紹介した。さらに、被災し一般の方が入ることができなくなった市民ミュージアム（旧川崎市市民ミュージアム）の展示室に「FAKE FUR」から13作品を実際に展示。当施設企画展示室での最後の展示として記録し、展覧会内で公開した。

A4 チラシ 16,000部  
 B3 ポスター 250部  
 DM 500部  
 函録 200部

## 関連イベント

### ワークショップ 「ねんどでふえいくふぁー」

講師 大島 康幸氏

日時 2023年11月11日(土) 13:30～15:30

会場/共催 百合丘こども文化センター 2階集会室

参加者数 24名



# 折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024



会期 2024年3月1日(金) 10:00～  
2024年3月29日(金) 15:00

日数 29日間

ページビュー数 2,195回

観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム

企画 ART-MAMA FOUNDATION

協力 深川雅文(キュレーター/クリティック)  
東海大学ティーチングクオリフィケーションセンター  
東海大学松前記念館

川崎市在住の現代美術家、折元立身を紹介する展覧会。パフォーマンスや写真、映像、ドローイング、オブジェなど、折元の表現活動は多岐にわたる。本展では10代の頃に描かれた自画像をはじめ、ニューヨーク滞在中に制作した時計のオブジェ、1990年代以降に精力的に行ったパフォーマンス「おばあさんのランチ」、「処刑」などを取り上げ、その活動の軌跡をたどりつつ、作品表現をひも解いた。また新作パフォーマンス《ラーメンをかぶる》を初公開し、新たな境地を切り拓く作家の姿を紹介した。

A4 チラシ 10,000部  
DM 500部

## 関連イベント

### 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

講師・協力 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

日時 2024年3月20日(水・祝) 14:00～16:00

開催方法 オンライン (Zoomを使用したグループ鑑賞)

※講師都合により中止



新民謡と町おこし —多摩川音頭と川崎地域— 出品リスト

番号	資料名	年代	所蔵・備考
<b>第一章 新民謡と町おこし</b>			
1-1	日本青年館	大正 15 (1926) 年	出典：日本青年館事業 (国立国会図書館デジタルコレクション)
1-2	第一回郷土舞踊と民謡の会	大正 15 (1926) 年	出典：日本青年館事業 (国立国会図書館デジタルコレクション)
1-3	真空管式ラジオ ミタカ電機製	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
1-4	蓄音機 日本蓄音器商会製	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
1-5	工場の見学の栞	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
1-6	日本コロムビアレコード 川崎工場全景	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
<b>第二章 多摩川音頭</b>			
2-1	北原白秋肖像写真	昭和 15 (1940) 年	国立国会図書館近代デジタルライブラリー「近代日本人の肖像」より
2-2	多摩川音頭の楽譜	昭和 4 (1929) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-3	多摩川音頭の歌詞	昭和 4 (1929) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-4	北原白秋《多摩川音頭》直筆原稿	昭和 4 (1929) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-5	多摩川音頭レコードとジャケット (新録版)	昭和 40 年代	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-6	京王閣が載った京王電車の路線図	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-7	佐藤惣之助肖像写真	—	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-8	川崎音頭・川崎小唄パンフレット	昭和 5 (1930) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-9	川崎音頭・川崎小唄パンフレット	昭和 5 (1931) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
2-10	多摩川盆踊の唄	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
<b>第三章 多摩川丸子踊り</b>			
3-1	小林英男肖像写真	昭和 8 (1933) 年	出典：中原町誌
3-2	花火大会パンフレット (表紙)	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-3	花火大会パンフレット (丸子園広告)	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-4	料亭「丸子園」外観 (花火大会パンフレットより)	昭和初期	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-5	中原青年団報	昭和 6 (1931) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-6	中原青年団報	昭和 6 (1931) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵
3-7	中原青年団の盆踊り	昭和 8 (1933) 年	川崎市市民ミュージアム所蔵

大島康幸展 出品リスト

No.	タイトル	素材	サイズ (縦×横×奥行cm)	制作年	所蔵	
<b>第 1 章 「FAKE FUR」</b>						
F1	Back of the soul no.1 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	228×43×44	2023	作家蔵	
F2	Front of the soul no.5 2017	楠、アクリル、顔料、銅鋳	192×50×60	2017	作家蔵	
F3	Front of the soul no.7 2017	楠、アクリル、顔料、銅鋳	160×45×60	2017	作家蔵	
F4	Front of the soul no.9 2017	楠、アクリル、顔料、銅鋳	146×40×40	2017	作家蔵	
F5	Back of the soul no.9 2021	楠、アクリル、顔料、墨	170×35×30	2021	作家蔵	
F6	Back of the soul no.3 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	124×20×20	2023	作家蔵	
F7	FAKE FUR -Chair 2021-	楠、椅子、アクリル、顔料、墨	107×52×60	2021	個人蔵	
F8	Brother 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	70×16.5×20	68×18×20	2023	作家蔵
F9	FAKE FUR extra no.1 2020	楠、アクリル、顔料、墨	100×160×25	2020	作家蔵	
F10	Front of the soul extra no.4 2023	楠、膠、顔料	15.5×3×2.5	2023	個人蔵	
<b>第 2 章 「時間の衣」</b>						
T1	時間の衣 1996	楠、ニス、顔料	170×60×60	1996	作家蔵	
T2	時間の肖像	楠、アガチス、顔料、水性ニス、滑石、蠟	40×35×21	2005	作家蔵	
T3	椅子を纏う	楠、椎、顔料、水性ニス、滑石、蠟	120×80×60	2005	作家蔵	
T4	黒を纏う no.1	楠、顔料、水性ニス、滑石、蠟	31×8×13	2005	個人蔵	
T5	Dance no.3	楠、顔料、水性ニス、滑石、蠟	50×38×20	2005	作家蔵	
T6	Dance no.1	楠、顔料、水性ニス、滑石、蠟	160×28×20	2005	作家蔵	
T7	「時間の衣」のためのドローイング no.1 1996	紙、ジェットン、木炭、鉛筆、パステル	143×91	1996	作家蔵	
T8	ドローイング - 手 - 1996	紙、ジェットン、木炭、鉛筆	150×90	1996	作家蔵	
T9	「時間の衣」のためのドローイング no.2 1996	紙、ジェットン、木炭、鉛筆	160×90	1996	作家蔵	
T10	「時間の衣」のためのドローイング no.3 1996	紙、ジェットン、木炭、鉛筆	170×90	1996	作家蔵	
<b>第 3 章 「始まり」</b>						
H1	Prologue - 始まりの人 (おとこ) -	楠、石粉、顔料、アクリル	210×60×80 (サイズ可変)	2021	作家蔵	
H2	Prologue - 始まりの人 (おんな) -	楠、石粉、顔料、アクリル	213×60×70 (サイズ可変)	2021	作家蔵	
H3	Prologue -eva-	楠、石粉、顔料、アクリル	38×13×5	2021	個人蔵	
H4	始まりの手 no.1	楠、石粉、顔料、アクリル	54×23×6.5	2021	作家蔵	
H5	始まりの手 no.2	楠、石粉、顔料、アクリル	44×22×6	2021	作家蔵	

No.	タイトル	素材	サイズ（縦×横×奥行cm）	制作年	所蔵
<b>第4章 川崎市市民ミュージアム</b>					
K1	(作品番号 F1)	—			
K2	(作品番号 F2)	—			
K3	Front of the soul no.6 2017	楠、アクリル、顔料、銅鋳	164×50×60	2017	作家蔵
K4	Front of the soul no.9 2019	楠、アクリル、顔料、墨	178×58×60	2019	作家蔵
K5	(作品番号 F3)	—			
K6	FAKE FUR Chair no.2 2019	楠、古い椅子、アクリル、墨	71×39×42	2019	作家蔵
K7	Front of the soul no.2 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	118×30×30	2023	作家蔵
K8	Venus head	楠、顔料、アクリル、蠟、鉄	132×36×35	2007	作家蔵
K9	(作品番号 F5)	—			
K10	Back of the soul no.2 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	172×40×25	2023	作家蔵
K11	(作品番号 F6)	—			
K12	Front of the soul no.1 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	72×18×20	2023	作家蔵
K13	Back of the soul no.6 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	57×16×15	2023	作家蔵
K14	Back of the soul no.7 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	56×13×14	2023	作家蔵
K15	Front of the soul no.3 2023	楠、アラビアゴム、顔料、アクリル	71×15×16	2023	作家蔵
K16	(作品番号 F9)	—			
K17	(作品番号 F4)	—			
K18	FAKE FUR Chair no.3 2019	楠、杉、顔料、アクリル、墨	69×39×52	2019	作家蔵

## 折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。1946-2024 出品リスト

No.	タイトル	素材	制作年
<b>第1章 浪人時代—パンとおふくろ（1946-1968）</b>			
1-1	無題（自画像）	油彩、カンヴァス	1964
1-2	無題	油彩、カンヴァス	不詳
1-3	パン	水彩、紙	1968
<b>第2章 アメリカ時代—カリフォルニアからニューヨークへ（1969-1977）</b>			
2-1	皿時計	皿時計、油性塗料、板、接着剤	1971
2-2	皿時計	皿時計、油性塗料、板、接着剤	1971
2-3	皿時計	皿時計、ティーポット、ナイフ、フォーク、スプーン	1971
2-4	皿時計 ドローイング	鉛筆、紙、時計の針	1971
2-5	私の腕時計 パンと数字 3	時計、パン、紙	1971-76
2-6	女性用腕時計 パン、数字 2	時計、パン、紙	1971-76
2-7	女性用腕時計 チョコレート、パン、数字	時計、チョコレート、パン、紙	1971-76
2-8	懐中時計 卵の殻、文字“BE”、パン	時計、パン、卵の殻、紙	1971-76
2-9	懐中時計 チョコレート、パン、数字 13	時計、チョコレート、パン、紙	1971-76
2-10	懐中時計 チョコレート、パン、数字 24	時計、チョコレート、パン、紙	1971-76
2-11	くるみの殻 チョコレート、たくさんの数字	胡桃の殻、チョコレート、紙	1971-76
2-12	小さいプラスチックボックス 時計、中国人民の新聞、キャップ	時計、新聞、プラスチックケース、キャップ	1971-76
2-13	腕時計 パン、数字 10	時計、パン、紙	1971-76
2-14	腕時計 チョコレート、時計の針、数字 22	時計、チョコレート、針、紙	1971-76
<b>第3章 帰国—パフォーマンスアートの実験（1977-）</b>			
3-1	アート・ママ+パン人間の息子	フォト・イベント	1996
3-2	50人のおばあさん	パフォーマンス	2006
3-3	処刑 26人のパン人間	パフォーマンス	2004
3-4	26人のパン人間の処刑	パフォーマンス	2017
3-5	PLAN SELLING BREAD PEOPLE (PUNISHMENT) T.O.2003	ペン、紙	2003
<b>第4章 パフォーマンス《ラーメンをかぶる》(2023)</b>			
4-1	Plan For Performance ラーメンをかぶる かぶられる, T.O.2018 10/13	ペン、鉛筆、色鉛筆、紙	2018
4-2	Performance ラーメンをかぶられる, T.O.2018 12/3	ペン、色鉛筆、紙	2018
4-3	Performance ラーメンをかぶる, T.O.2020 3/19	ペン、色鉛筆、紙	2020
4-4	Performance Plan ラーメンをかぶる!, T.O.2020 3/19	ペン、紙	2020
4-5	ラーメンをかぶる	パフォーマンス	2023

※画像・動画提供はすべてART-MAMA FOUNDATION



## 企画展

# 第57回 かわさき市美術展



会場	ミュゼ川崎シンフォニーホール 企画展示室・研修室 4
会期	2024年1月11日(木)～1月27日(土) 入選作品展(全部門)…1月11日(木)～1月18日(木) 入賞作品展(全部門)…1月20日(土)～1月27日(土)
日数	15日間
入場者数	1,674人
観覧料	無料
主催	川崎市
後援	川崎市教育委員会、かわさきFM(79.1MHz)(順不同)
協賛	川崎信用金庫、セシサ川崎農業協同組合(50音順)

かわさき市美術展は、昭和42(1967)年から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会である。本展では、川崎市に在住・在勤・在学、あるいは市内で制作活動をしている人々を対象に全6部門(①平面部門、②彫刻・立体造形、③工芸、④書、⑤写真、⑥中高生)の作品の公募をした後、審査の上、入賞及び入選作品を展示した。合計367点の応募があった。

例年通り、ミュゼ川崎シンフォニーホールを会場に開催した。選考の結果、最優秀賞は横山陸渡氏の作品《さようなら さようなら》、中高生を対象としたコミュゼ川崎大賞には山本叶音氏の作品《現実逃避》が受賞した。本展は会期を2期に分け、入賞・入選作品計124点の展示を行った。

応募者数 273名/応募作品数 367点/入賞・入選者数 122名/入賞・入選作品数 124点  
市民賞 7点 ※入選作品から部門ごとに出選

【募集要項】 A4(A3二つ折り) チラシ 25,000部 B3ポスター 400部  
【作品展】 A4 チラシ 20,000部 はがき 2,500部 B3ポスター 200部  
【作品集】 2,100部

## 関連イベント

### オンラインセミナー「工芸のはなし 日常の発見 ーつくる・みる・つかうー」

講師 三上 亮氏(陶芸作家・東京藝術大学美術学部教授)

期間 2023年9月29日(金)10:00～2024年3月29日(金)16:00 ※Webサイトで配信

視聴回数 314回

### 講評

入賞・入選作品を対象に、作品集および書面で審査員による講評を配布した。

### 表彰式

日時 1月27日(土)

※2024年2月9日(金)10:00～3月29日(金)16:00の期間、Webサイトで動画を配信

会場 ミュゼ川崎シンフォニーホール 市民交流室

参加者数 67名

視聴回数 93回



最優秀賞  
横山 陸渡 《さようなら さようなら》



コミュゼ川崎大賞  
山本 叶音 《現実逃避》





第 57 回 かわさき市美術展 入賞・入選作品一覧

賞	部門 1	部門 2	タイトル	制作者名
<b>■入賞</b>				
最優秀賞	一般	平面	さようなら さようなら	横山 陸渡
コミュゼ川崎大賞	中高生	平面	現実逃避	川崎市立西高津中学校 山本 叶音
優秀賞	一般	彫刻・立体造形	無題	二ナガワ スミオ
優秀賞	一般	工芸	萌え出づる	丹羽 明夫
優秀賞	一般	書	漢訳 お江戸日本橋	田辺 談窓
優秀賞	一般	写真	Origin	小川 淳
奨励賞	一般	平面	愛と勇氣	森山 暁
奨励賞	一般	平面	祈り	山本 恭平
奨励賞	一般	彫刻・立体造形	背花常彩	里馬
奨励賞	一般	工芸	殻 (I II III)	松尾 雅子
奨励賞	一般	工芸	風にふかれて	福田 典子
奨励賞	一般	書	あかね空	南里 由美子
奨励賞	一般	写真	薫風	佐藤 仲信
奨励賞	一般	写真	サウロンの目	真貝 憲一
審査員特別賞	一般	平面	隣のプーチヤン閣	老子 英夫
審査員特別賞	一般	平面	湾岸工場	大平 久司
審査員特別賞	一般	平面	眠り	菊地 彩香
審査員特別賞	一般	平面	ゆり	永井 武志
審査員特別賞	一般	平面	大石林山 (沖縄にて)	成川 美知子
審査員特別賞	一般	平面	SUNRISE SORCERY	村上 美穂
審査員特別賞	一般	平面	陽はのぼる	湯瀬 明意
審査員特別賞	一般	平面 (油彩)	花からの恵み	倉橋 榮子
審査員特別賞	一般	平面	かさなる情景	こでら みう
審査員特別賞	一般	彫刻・立体造形	木兎 3	神田 寛
審査員特別賞	一般	工芸	打掛「牡丹」	荻島 操
審査員特別賞	一般	工芸	海に翔ぶ	柏倉 美由喜
審査員特別賞	一般	工芸	タペストリー・ゴッホに憧れて	木村 八重子
審査員特別賞	一般	工芸	Together	増田 奈津
審査員特別賞	一般	書	後撰和歌集のうた	村上 裕
審査員特別賞	一般	書	万葉集 大伴旅人の歌一首と短歌 (反歌)	木下 清華
審査員特別賞	一般	書	好きです かわさき 愛の街	新田 修子
審査員特別賞	一般	書	恋歌	中島 きらら
審査員特別賞	一般	写真	朝日に照らされて	後藤 晴香
審査員特別賞	一般	写真	challenge	Hiro
審査員特別賞	一般	写真	万華鏡	小島 満男
審査員特別賞	一般	写真	ご機嫌	坂本 泰男
優秀賞	中高生	平面	道のり	川崎市立幸高等学校 國分 一真
優秀賞	中高生	平面	世間	品川翔英高等学校 原田 光太郎
優秀賞	中高生	写真	お天気日和	県立川崎高校 定時制 柳沼 樹
優秀賞	中高生	書	銀河新星	川崎市立川崎高等学校 松永 歩諭
優秀賞	中高生	書	始平公造像記臨書	川崎市立川崎高等学校 中野 紗月
<b>■入選</b>				
	一般	平面	小休止	赤堀 泰祐
	一般	平面	旅のつづき	磯ヶ谷 澄海
	一般	平面	天地創造 5 日目	呉 聖恵
	一般	平面	I'm made of money	オグラジュンペイ
	一般	平面	2 人の世界	海江田 史織
	一般	平面	あけぼの	美雪
	一般	平面	ランナウェイ	女子美術大学 つり河
	一般	平面	PARADISE	金 大熙
	一般	平面	美女と蠶 2024	黒沢 進士
	一般	平面	せっちゃん	山野 生善
	一般	平面	SKY SKI	齋藤 拓郎
	一般	平面	広がる空	中山 美代子
	一般	平面	ないしょ話	下澤 雪子
	一般	平面	in my mind No.26	野口 貴子
	一般	平面	椿	関野 啓治
	一般	平面	ふるさとの桜	瀬田 哲彦
	一般	平面	公園の秋	瀧口 正
	一般	平面	実を結ぶ	角田 吉弘
	一般	平面	京	青山 美穂
	一般	平面	Witches	ナガタ コウタロウ
	一般	平面	桐の花	根本 幸子
	一般	平面	秋のしらべ	早崎 之禧
	一般	平面	バンビ	平田 直毅
	一般	平面	「自由 - 命 - 意志」	村田 真一
	一般	平面	雪見桜	渡辺 恵
	一般	平面	巡り回る時	森田 隆
	一般	平面	細やかな薔薇の競演	柳北 勲
	一般	平面	躍る海老	矢吹 浩子

賞	部門 1	部門 2	タイトル	制作者名
市民賞	一般	平面	百花	密架
	一般	平面	吸花	密架
	一般	平面	まずは遠くの空をみて	弓削田 天
	一般	平面	深夜のぬくもり	八木 志基
	一般	平面	7月のジヴェルニーは花ざかり	間宮 芳子
	一般	平面	芍薬	ザクロ グミ
	一般	平面	いのちのかたち	千葉 純子
	一般	平面	考える小さな人	矢野 裕子
	一般	平面	白杵石仏	宮川 重治
	市民賞	一般	彫刻・立体造形	DREAM
一般		彫刻・立体造形	メンダコ	川上 岳郎
一般		彫刻・立体造形	地球沸騰～業火に焼かれて～	望月 雅文
一般		彫刻・立体造形	炎煙	米原 武史
一般		工芸	composition しじま	内山 あさ子
一般		工芸	なごみ	大原 弘美
一般		工芸	パーティーション「縁(円)」	菅原 行男
一般		工芸	みつめるふくろう	長島 小春
一般		工芸	散歩	中村 洋子
一般		工芸	駒島文鎮	畑岡 奈緒子
市民賞	一般	工芸	賀席酒席「龍吟虎嘯」	望月 雅文
	一般	工芸	緑豊かに	山本 隆一
	一般	工芸	春樹の中の小さな世界	阿部 泰樹
	一般	工芸	風	古家 郁子
	一般	書	般若心経	大阿久 道子
	一般	書	東晋墓詩銘字法で書く唐詩一首	田代 翔溪
	一般	書	書道(半切)五言絶句	立木 佳幸
	一般	書	人間到る處青山有り	九里 采邑
	一般	書	孫秋生造像記	津端 美玖
	一般	書	篆刻峯嵐	奥田 英道
市民賞	一般	書	この歳に今思うこと	坂本 守
	一般	写真	月虹にかける	雅輝
	一般	写真	復活・氏神様の渡御	taka_maru
	一般	写真	大きな妖怪	末吉 穰
	一般	写真	狙いを定めて	田島 仁
	一般	写真	紅一輪	慶應義塾大学 轟木 秀吾
	一般	写真	始発電車	加納 良英
	一般	写真	光と水のシンフォニー	山口 真理
	一般	写真	そして電車と…街で…道と…	福田 一幸
	一般	写真	共に	東 栄子
市民賞	一般	写真	初夏・郊外の水辺にて-	やまもと みえこ
	中高生	書	花鳥風月	川崎市立川崎高等学校 仲村 麻音
	中高生	平面	一房の紫	南大師中学校 バナナ
	中高生	書	輝風	横浜共立学園高等学校 溝田 鈴
	中高生	写真	主役へのスポットライト	日本大学第三高等学校 横田 万漣
	中高生	平面	自由に広がる無限の宇宙	スレスタ ハノク / 小寺澤 創一 / 平井 優花 / 飯田 こゆき / 山内 ゆな / 吉田 琴葉 / 大庭 裕希 / ドイエン 璃音 / 田中 芽衣紗 / 小林 諒真
	中高生	平面	人工知能の自画像	川崎市立高津高等学校 村井 統哉
	中高生	平面	無いし樹	川崎市立稲田中学校 本石 柑奈
	中高生	写真	狐の踊るときは踊れ	県立川崎高校 定時制 仙北 心
	中高生	写真	つかまった～	県立川崎高校 定時制 本谷 美央利
中高生	書	胡蝶のゆめ	川崎市立川崎高等学校 天野 夏花	
中高生	書	桜梅桃李	川崎市立川崎高等学校 田代 未来	
中高生	平面	トップライン	駒村 愛美	
中高生	平面	儂	竹本 遥樹	
中高生	平面	あの花	大川 恵寛	
中高生	平面	青に尾をひく	松下 優音	



## 川崎市市民ミュージアム — 誕生と軌跡 —



会場	川崎市教育文化会館
会期	2024年2月18日(日)～3月5日(火)
日数	16日間
入場者数	577人
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム

川崎市市民ミュージアムは、1988年に博物館・美術館の融合施設として開館したが、従来美術館で扱われることが少なかった写真・漫画・映画といった複製芸術を収蔵するなど、先駆的な取り組みを展開してきた。

移転を機に、当館のこれまでの歩みや建物を回顧する展示、オンライン配信、講演会、ワークショップなどを展開し、これまでの活動を総括するとともに、今後のミュージアムについて考えるきっかけづくりをめざした。

A4 チラシ 40,000部  
B3 ポスター 200部  
関連書籍 1,000部

### 関連イベント

#### オンライン建物めぐり「川崎市市民ミュージアム オンラインたてもものツアー」

配信開始日 2024年2月16日(金) 10:00

##### 1. 菊竹建築における川崎市市民ミュージアム

講師 斎藤 信吾氏(東京理科大学工学部建築学科助教)

視聴回数 238回 ※配信開始日～2024年3月31日(日)の実績

##### 2. 「修復」と川崎市市民ミュージアム

講師 高田 安規子氏・高田 政子氏(アーティスト)

視聴回数 482回 ※配信開始日～2024年3月31日(日)の実績

##### 3. 「C」を探せ! 川崎市市民ミュージアム宝探し

講師 鈴木 勇一郎(川崎市市民ミュージアム学芸員)

視聴回数 525回 ※配信開始日～2024年3月31日(日)の実績

#### 講演会「建築家・菊竹清訓の『かた』の展開 —川崎市市民ミュージアムから読み解く—」

講師 斎藤 信吾氏(東京理科大学工学部建築学科助教)

日時 2024年2月23日(金・祝) 14:00～16:00

会場 川崎市教育文化会館 第6・第7会議室

参加者数 32名

#### ワークショップ「アニメーション EMAKI マシーン KAWASAKI」

講師 松本 力氏(絵描き・アニメーション作家)

日時 2024年2月10日(土) 11:00～16:00

会場 イトーヨーカドー川崎港町店 2階オレンジ広場

参加者数 16名

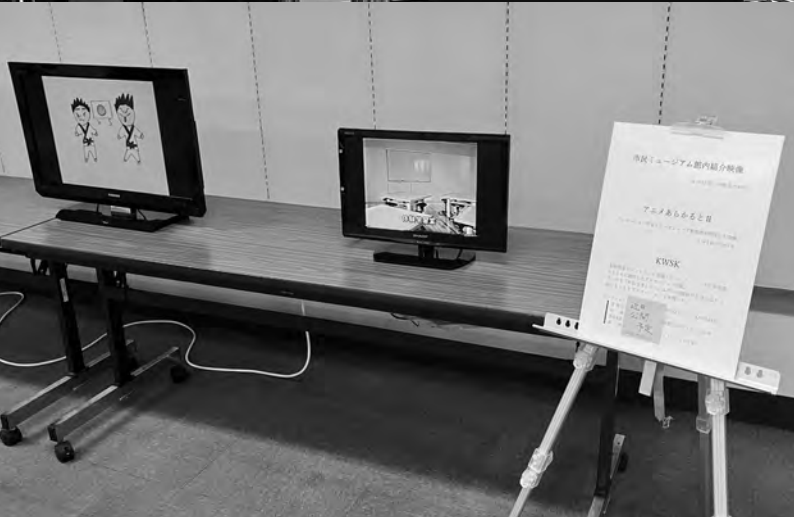
作品上映 2024年2月21日(水)～3月5日(火) 川崎市教育文化会館

2024年3月30日(土)～3月31日(日) イトーヨーカドー川崎港町店



川崎市市民ミュージアム—誕生と軌跡— 出品リスト

番号	資料名	年代	
<b>第1章 川崎市立産業文化会館</b>			
1	郷土博物館建設の急務 『川崎研究』1巻1号	1956年	
2	私たちの町 川崎市 昭和40年	1965年	
3	川崎市立産業文化会館パンフレット	1967年	
4	川崎市産業文化会館内博物館	1985年頃	
5	産業文化会館だより 101号	1986年	
6	高津の芸術風土展	1982年	
7	産業文化会館学芸課紀要 1号	1979年	
<b>第2章 現代映像文化センター構想と合築計画</b>			
8	2003年 文化都市川崎をめざして11の柱32提言	1979年	
9	川崎市博物館基本構想に関する報告書	1982年3月	
10	川崎市現代映像文化センター(仮称)基本計画報告書(昭和58年3月)	1983年3月	
11	仮称・川崎市現代映像文化センター 基本的な考え方と今後の課題	1982年6月	
12	“新しいミュージアムをめざして” 仮称川崎市博物館・現代映像文化センター合築基本計画報告書	1984年3月	
13	[仮称] 川崎市博物館展示基礎調査報告書	1984年3月	
14	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター基幹計画書	1984年12月	
15	日本写真美術館設立趣意1	1979年12月	
16	2001かわさきプラン ダイジェスト版	1983年3月	
17	仮称川崎市博物館展示基本計画・要約版	1983年3月	
<b>第3章 川崎市市民ミュージアムの建築</b>			
18	川崎市市民ミュージアム建設予定地地層試掘標本		
19	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター 歴史民俗展示室検討資料	1985年頃	※
20	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター 環境図	1985年頃	※
21	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター アイソメ図	1985年頃	
22	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター 展示基本設計 歴史民俗展示ゾーニング図	1985年	※
23	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター 展示基本設計 歴史民俗展示平面図	1985年	※
24	仮称川崎市博物館・現代映像文化センター 展示基本設計 歴史民俗展示 テーマ1 川辺のいとなみ	1985年	
25	仮称川崎市市民ミュージアム新築工事 敷地図3	1985年	※
26	仮称川崎市市民ミュージアム新築工事 立面図1	1985年	
27	仮称川崎市市民ミュージアム新築工事 立面図2	1985年	
28	仮称川崎市市民ミュージアム新築工事 配置図	1985年	※
29	仮称川崎市市民ミュージアム新築工事 断面図2	1985年	※
30	川崎市市民ミュージアム建築工事写真	1987年頃	※
31	仮称市民ミュージアム建築設計概要	1985年	
32	仮称市民ミュージアム逍遙展示空間の展示作品基本計画	1986年頃	※
33	川崎市博物館資料収集委員会報告図 宮内の雨乞	1986年	
34	市民ミュージアム・現代美術展示室の展示シナリオ(案)	1986年	
35	仮称市民ミュージアム概要	1987年	
36	市民ミュージアム建設工事アルバム(トーマス転炉移設工事)	1988年	※
37	川崎の新しいミュージアム 歴史民俗現代美術映像文化 づくり 歴史民俗編	1988年頃	
<b>第4章 市民ミュージアムのコレクションと展示</b>			
38	開館告知ポスター	1988年	※
39	館内案内図	1988年	
40	トーマス転炉模型	1988年	
41	21世紀へ かわさき ミュージアム	1988年	
42	川崎市市民ミュージアムのシンボルマークデザインマニュアル	1988年	
43	川崎市市民ミュージアム模型	1988年	
44	川崎市市民ミュージアム案内看板	1988年	
45	時代のいぶきをつたえる大衆芸術 21世紀へ かわさき ミュージアムづくり	1986年	
46	2023年の川崎市市民ミュージアム(外観)	2023年	※
47	2023年の川崎市市民ミュージアム(逍遙展示空間)	2023年	※
48	アメリカン・ドキュメンタリー 市民ミュージアム開館プレイヴェント/川崎市民祭り参加行事 写真展	1988年	
49	市民ミュージアム レストラン四季		
50	逍遙展示空間	1988年	
51	逍遙展示空間のオブジェ	1988年	
52	河童像		
53	ジャバラ(水車)		
54	セイノカミ小屋模型		
55	ネエトリダイ		
56	イネカリガマ		
57	マンガ		
58	エブリ		
59	長芋堀		
60	ニヶ領用水絵図(複製)		
61	分量樋模型		
62	企画展ポスター		※



## 川崎市市民ミュージアム出張 タヤけ上映会



会場	等々力緑地 催し物広場
会期	2023年9月9日(土) 18:30～20:30
日数	1日間
来場者数	なし(雨天のため開催中止)
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム
技術協力	株式会社東真トリニティー、有限会社鈴木映画、有限会社ヤマガタ
広報協力	「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

昨年度に引き続き等々力緑地内の催し物広場に仮設スクリーンと座席を設置した、1日限定の野外上映会を企画。前日の台風と雨天のため、中止になった。幅広い客層が楽しめる作品として、中原区の卓球場や多摩区のみみうりランドがロケ地として登場する、青春卓球映画『ピンポン』を上映する他、レスキュー活動を通してデジタル化された「川崎市政ニュース映画」を冒頭で併映予定であった。

A4 チラシ 40,000部  
 B3 ポスター 200部  
 来場者用リーフレット 600部

### 上映予定作品

#### 「川崎市政ニュース映画」(デジタル上映/計2作品)

ニュース No.907 『ミュージアム オープン!』(1988年/スタンダード/モノラル/約2分30秒)  
 ニュース No.1147 『開館10周年 市民ミュージアム』(1998年/スタンダード/モノラル/約2分)

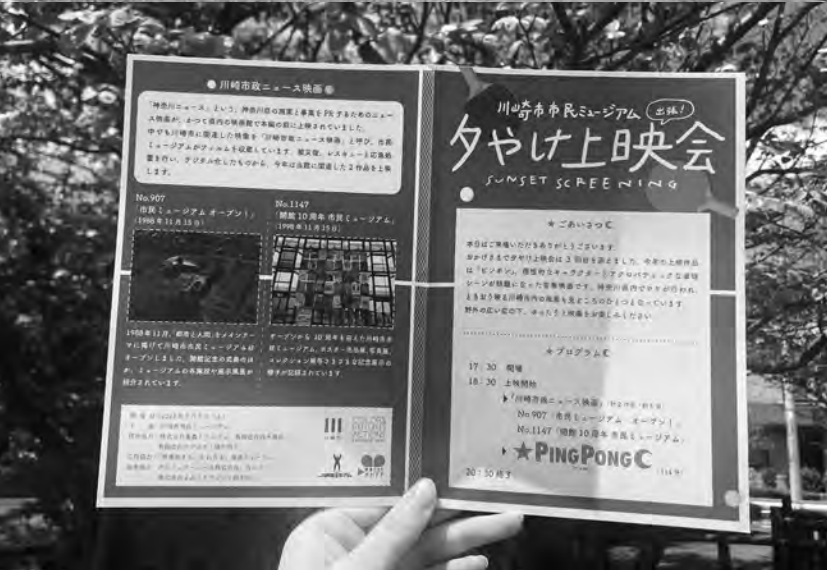
#### 『ピンポン』(2002年/ビスタ/ドルビーデジタル/114分/アスミック・エース)

原作:松本大洋「ピンポン」(小学館)

監督:曾利文彦

脚本:宮藤官九郎

出演:窪塚洋介、ARATA、サム・リー、中村獅童、竹中直人、夏木マリほか





## アニメ あらかると！ 音楽とフィルムが奏でるアニメーションの世界



会場 中原市民館 多目的ホール  
 会期 2024年3月2日(土) 13:30～14:40  
 (15:00～16:00まで体験コーナー実施)  
 日数 1日間  
 来場者数 232名  
 観覧料 事前申込制/一般600円、小中高生400円、  
 未就学児・障害者手帳をお持ちの方とその介護者 無料  
 主催 川崎市市民ミュージアム  
 協力 国立映画アーカイブ、神戸映画資料館  
 技術協力 有限会社鈴木映画  
 広報協力 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム

川崎市市民ミュージアムが1989年にアニメーション作家と小中学生とで製作した連作アニメーション「アニメ あ・ら・かると」の上映を軸に、多様なアニメーション作品を紹介する上映会を開催。100年前の大ヒット漫画である『正チャンの冒険』をはじめ、エミール・コールや大藤信郎の代表作などアニメーション最初期の名作を選定し、伴奏者と活動写真弁士のライブ付きのフィルム上映を行った。上映後にはフィルムや映写機、アニメーション装置の体験コーナーを設け、デジタル世代の子供たちが映画とアニメーションの歴史を体感できる内容とした。ベビーカー鑑賞も可能とし、親子をメインターゲットにしたが、大人のみ参加も多く、幅広い世代が一体となって鑑賞する上映会となった。

A4 チラシ 22,000部  
 B3 ポスター 200部

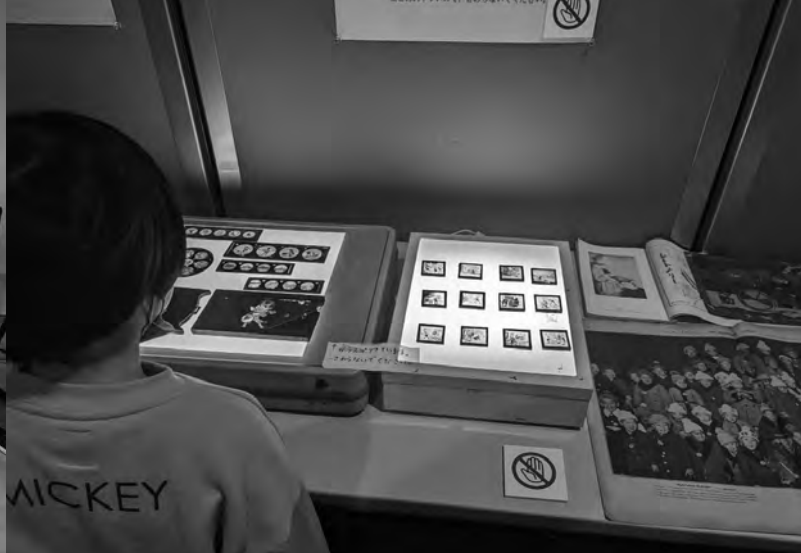
### 上映作品（上映順）

『アニメ あ・ら・かると』（1989年/演出：福島治/35ミリ/カラー/10分）  
 『エミール・コール短編作品集』（1908年～1912年/監督：エミール・コール/16ミリ/白黒/17分）※  
 『正チャンの冒険』（1925年頃/監督：不明/16ミリ/白黒/7分）神戸映画資料館蔵 ※  
 『茶目子の一日』（1931年/監督：西倉喜代治/35ミリ/白黒/7分）国立映画アーカイブ蔵  
 『心の力』（1931年/監督：大藤信郎/35ミリ/白黒/18分）国立映画アーカイブ蔵 ※  
 ※は伴奏・活弁つきで上映

映画伴奏：柳下 美恵氏  
 活弁士：尾田 直彪氏

### 体験コーナー（上映終了後に鑑賞者向けに実施、自由参加）

ゾートロープ、フェナキストスコープ、ブラクシノスコープ等のアニメーション装置のほか、映画フィルム、小型映写機などを触り、体験できるブースを設置。



教育普及



# 教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらおうよう事業を展開する。

## (1) 市民ミュージアムの活動に対する関心を広く呼び起こす事業

市民に開かれた生涯学習及び知的交流の場として、講座やセミナー、ワークショップ、史跡見学等の活動を実施することで、川崎の歴史や文化芸術などを学ぶ機会を創出し市民の文化活動を支援している。

事業名	講座名	回数	場所	日程	参加人数	
博物館 プログラム	史跡めぐり 柿めぐる道 ーみんなで伝える！ 昔ばなしと寺社めぐりー	2回	川崎市麻生区 (白山神社・王禅 寺)周辺	3月9日・16日	9日 24名 16日 17名	
美術館 プログラム	ワークショップ ミュージアムってナニ？ 集めて見せよう！並べて話そう！	1回	川崎市生活文化 会館てくのかわ さき	10月29日	21名	
企画展 関連事業	昔のくらしと道具たち ー衣・食・住の移り 変わりー	イベント「昔のおもちゃで遊んでみ よう！」	1回	川崎市大山街道 ふるさと館	7月15日	36名
		ワークショップ「さわれるシネマ ～ 8ミリフィルムカメラで撮影と現像 をしてみよう～」	2回	川崎市大山街道 ふるさと館	8月6日・11日	16名(両日とも)
	川崎宿 ー1623～ 2023ー	オンライン史跡めぐり 「川崎宿 その跡をめぐる」	ー	オンライン	9月25日～3月29日	476回(視聴回数)
		講演「江戸時代の旅と食」	1回	東海道かわさき宿 交流館	11月4日	40名
	第 57 回 かわさき市美術展	オンラインセミナー「工芸のはなし 日常の発見 ーつくる・みる・つかうー」	WEB配信	オンライン	9月29日～3月29日	314回(視聴回数)
		講評会	書面配布	ー	ー	ー
		表彰式	1回	ミュージア川崎 シンフォニーホール	1月27日	67名
	川崎市 市民ミュージアム ー誕生と軌跡ー	ワークショップ「アニメーション EMAKI マシーン KAWASAKI」	1回	イトーヨーカドー 川崎港町店	2月10日	16名
		オンライン建物めぐり「川崎市市民 ミュージアム オンラインたても のツアー」	ー	オンライン	2月16日～公開継続	1,245回(視聴回数) ※3本計、3/31までの実績
		講演「建築家・菊竹清訓の『かた』 の展開 ー川崎市市民ミュージアム から読み解くー」	1回	川崎市教育文化 会館	2月23日	32名
オンライン展覧会 「大島康幸展」	ワークショップ「ねんどでふえいく ふぁー」	1回	百合丘こども 文化センター	11月11日	24名	
学芸員 研究発表	川崎市 市民ミュージアム 講座(オンライン)	新民謡と町おこし ー多摩川音頭と 川崎地域ー	WEB配信	オンライン	7月21日～3月29日	前編:362回(視聴回数) 中編:193回(視聴回数) 後編:184回(視聴回数)
		川崎宿事件簿2 川崎宿で盗難発生 か!?	WEB配信	オンライン	9月15日～3月29日	前編:425回(視聴回数) 後編:212回(視聴回数)
		昔の漫画(とアニメ)に詳しくなろう! 日本初のアニメーションを作った男 たち編	WEB配信	オンライン	10月6日～3月29日	723回(視聴回数)
		佐藤惣之助と詩	WEB配信	オンライン	12月1日～3月29日	10,600回(視聴回数)

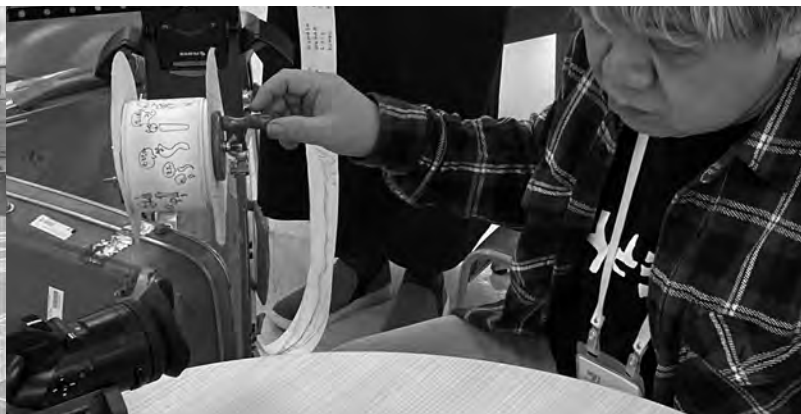
## (2)子どもたち及び青少年の学習活動及び体験活動を支援する事業

次代を担う子どもたちや青少年を対象として、市民ミュージアムの収蔵品、研究成果等を活用し、市内の小中学校等と連携した学校での学習単元及び社会体験に沿ったプログラムを企画・実施する。

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数	
スクール プログラム	学校出張プログラム	ゾートロープであそんでみよう!	1回	YUME School	6月21日	9名
		総合的学習の時間(地域の歴史)	1回	子母口小学校	6月29日	194名
		勾玉(まがたま)づくり	2回	宮内小学校	7月1日	午前 26名 午後 21名
		総合的学習の時間(ニケ領用水)	1回	東住吉小学校	9月13日	30名
		勾玉(まがたま)づくり	1回	中原小学校	1月20日	29名
		総合的学習の時間(学芸員の仕事)	1回	宮内小学校	1月22日	30名
		多摩川の砂利	1回	法政大学第二高等学校	2月9日	38名
教材貸出	アートカード	—	暮らしの保健室	11月2日~2月15日	2セット	
社会科教育 推進事業	出張授業	東住吉小学校			7月6日	83名
		日吉小学校			7月7日	180名
		西生田小学校			7月13日	161名
		長沢小学校			7月14日	103名
		さくら小学校			7月18日	58名
		小倉小学校			7月20日	140名
		鷺沼小学校			9月4日	178名
		川崎小学校			9月7日	85名
		宮内小学校			10月3日	149名
		上丸子小学校			10月4日	146名
		宿河原小学校			10月11日	123名
		有馬小学校			10月13日	55名
		南河原小学校			10月16日	89名
		新町小学校			10月17日	46名
		南菅小学校			10月23日	35名
		田島小学校			10月26日	77名
		生田小学校			10月31日	79名
		宮前小学校			11月2日	134名
		下作延小学校			11月7日	75名
		麻生小学校			11月9日	130名
		橘小学校			11月13日	145名
		下沼部小学校			11月14日	138名
		末長小学校			11月21日	188名
		西野川小学校			11月24日	42名
		南百合丘小学校			11月29日	144名
		久本小学校			11月30日	156名
		新城小学校			12月7日	119名
		西御幸小学校			12月8日	52名
		殿町小学校			12月11日	45名
		幸町小学校			12月18日	105名
西梶ヶ谷小学校			12月19日	77名		
御幸小学校			1月10日	161名		
南生田小学校			1月11日・12日	169名		

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数	
出張授業	上作延小学校			1月16日	120名	
	東門前小学校			1月18日	129名	
	夢見ヶ崎小学校			1月22日	52名	
	四谷小学校			1月26日	70名	
	片平小学校			1月30日	84名	
	真福寺小学校			2月2日	37名	
	南原小学校			2月5日	32名	
	下小田中小学校			2月8日	207名	
	宮崎台小学校			2月13日	141名	
	富士見台小学校			2月20日	196名	
	金程小学校			2月22日	76名	
	東菅小学校			2月27日	100名	
	浅田小学校			2月29日	50名	
	体験グッズ貸出	苅宿小学校			9月15日～9月28日	110名
宮内小学校				10月3日	149名	
栗木台小学校				11月20日～11月22日	109名	
はるひ野小学校				11月25日～12月9日	130名	
社会科教育 推進事業	麻生小学校				130名	
	生田小学校				79名	
	今井小学校				120名	
	大戸小学校				101名	
	金程小学校				76名	
	上作延小学校				120名	
	上丸子小学校				146名	
	苅宿小学校				110名	
	川崎小学校				85名	
	川中島小学校				135名	
	木月小学校				64名	
	小杉小学校				125名	
	鷺沼小学校				178名	
	さくら小学校				50名	
	下河原小学校				30名	
	ワークブック配布	下小田中小学校				207名
		下沼部小学校				138名
		下平間学校				89名
		宿河原小学校				123名
		白幡台小学校				29名
		新城小学校				119名
		真福寺小学校				37名
		田島小学校				77名
		土橋学校				167名
		戸手小学校				85名
		殿町小学校				45名
		長尾小学校				35名
西生田小学校					161名	
西梶ヶ谷小学校					77名	
西野川小学校					42名	
西御幸小学校					52名	

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数
社会科教育 推進事業	ワークブック配布		はるひ野小学校		130名
		稗原小学校	95名		
		東住吉小学校	83名		
		東門前小学校	129名		
		久末小学校	118名		
		久本小学校	156名		
		日吉小学校	180名		
		藤崎小学校	111名		
		富士見台小学校	196名		
		三田小学校	84名		
		南河原小学校	89名		
		南菅小学校	35名		
		南野川小学校	74名		
		南原小学校	32名		
		南百合丘小学校	144名		
		宮前小学校	134名		
		御幸小学校	161名		
		四谷小学校	70名		



### (3) すべての人が参加しやすい事業

令和元年度に被災するまでは、すべての人が文化芸術を身近に感じ参加できるバリアフリープログラムを実施していたが、被災後は同プログラムのうちボランティア活動支援を「収藏品レスキュー作業への協力」に変更し実施している。

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数
バリアフリープログラム	収藏品を用いた鑑賞会	2回	café&space L.D.K	2月15日・3月5日	各回9名
ボランティア活動支援	収藏品レスキュー作業への協力	4回	館内	4月15日・29日・5月6日・7月15日	4名

### (4) 高等教育機関との連携

東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業。

事業名	講座名	回数	場所	日程	人数	
博物館実習	館内実習	5回	館内	7月11日・12日・14日・15日・21日	1名	
東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協働による被災資料レスキュー事業	東海大学博物館実習1グループ実習内古文書レスキュー	ワークショップ	8回	東海大学	8月24・25・28・29日 2月15・16・19・20日	61名





收集・貸出・特別利用



# 収集・貸出・特別利用

## 1. 収集

令和5年度は、博物館、美術館共に下記の資料または作品の収集を行った。

### ■ 寄贈 1件

大矢紀《大樹・五色八重咲散椿図》 1点

## 2. 整理・保存

令和5年度は、博物館・美術館資料を中心に整理・保存作業を行い、収集資料の統合データベース化を進めた。

## 3. 収蔵品の貸出・他館への協力

令和5年度における他機関への資料貸出、特別利用の実績は以下の通りである。

### ■ 館外貸出 10件

	貸出先	貸出資料	点数
1	鹿島田念仏講中 2023年4月1日～2024年3月31日	鹿島田念仏講道具一式	25点
2	川崎市立下布田小学校 2023年4月1日～2024年3月31日	石製傍示杭（東京府飛地）	1点
3	東海道かわさき宿交流館 2023年4月1日～2024年3月31日	川崎宿ジオラマ	1点
4	公益財団法人放送番組センター 放送ライブラリー 2023年4月18日～2023年7月31日	脚本資料 13点	13点
5	公益財団法人放送番組センター 放送ライブラリー 2023年8月1日～2023年10月31日	脚本資料 61点	61点
6	公益財団法人放送番組センター 放送ライブラリー 2023年8月1日～2023年11月30日	脚本資料 25点	25点
7	一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム 2023年8月1日～2023年12月30日	脚本資料 138点	138点
8	鎌倉市川喜多映画記念館 2023年9月26日～2024年1月31日	脚本資料 4点	4点
9	愛媛県美術館 2024年1月22日～2024年4月12日	田中岑「エレジー」 田中岑「瀬戸内海」1996.07.31 田中岑「瀬戸内海」1996.08.02	3点
10	東海道かわさき宿交流館 2024年3月1日～2028年3月31日	大師道道標（レプリカ）	1点

■特別利用 53件（原板使用52件、撮影1件）

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
1	原板使用	有限会社ブックポケット	河童像、寛永年中豊後肥田ニテ捕候水虎之図、『絵本百物語』（船幽霊・赤えいの魚・芝右衛門狸・羽黒べったり）各1点計6点
2	原板使用	那覇市	佐藤惣之助肖像各1点、計2点
3	原板使用	株式会社クロノクリエイト	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
4	原板使用	（個人）	下野毛村原文書文化2年9月五ヶ村組合絵図1点
5	原板使用	那覇市	佐藤惣之助 短冊 1点
6	原板使用	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	弥生時代の食事 1点
7	原板使用	（個人）	『画図百鬼夜行』（たぬき・あかなめ・かわうそ・河童）各1点計4点
8	原板使用	株式会社エチカラ	「川崎駅前の乗車風景」、「川崎駅前（川崎区・昭和40年）」各1点計2点
9	原板使用	株式会社トータルメディア開発研究所	「川崎市制記念 市役所」、「桜本町にて」各1点計2点
10	原板使用	株式会社 TBS スパークル	『画図百鬼夜行』風（前編）元興寺 1点
11	原板使用	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）2点
12	原板使用	株式会社風来堂	ジョルジュ・ピゴー『魚釣り遊び（漁夫の利）』2点
13	原板使用	青梅市立美術館	アルフォンス・ミュシャ『ジスモンダ』1点
14	原板使用	株式会社トータルメディア開発研究所	「川崎市制記念 市役所」、「市役所」、「商工まつり22」、「商工まつり25」各1点計4点
15	原板使用	帝京大学総合博物館	「下川凹天」、「幸内純一」各1点計2点
16	原板使用	株式会社ユニフォトプレスインターナショナル	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）2点
17	原板使用	株式会社 NHK エデュケーショナル生活グループ	画図百鬼夜行 前編（陽）「反枕（まくらがえし）」1点
18	原板使用	エー・アール・ティ株式会社 月刊江戸楽編集部	稲毛川崎二ヶ領絵図1点
19	原板使用	東京法令出版株式会社 教育事業推進部教材開発一課	ジョルジュ・ピゴー『魚釣り遊び（漁夫の利）』1点
20	原板使用	株式会社スタジオアレコレ	第2回遣欧使節山内六三郎正面、横向き各1点
21	原板使用	株式会社オルタスジャパン	画図百鬼夜行 前編（風）「牛鬼」1点
22	原板使用	株式会社悠工房	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京パック』1937年新年号）1点
23	原板使用	株式会社ファミリーマガジン	『百鬼徒然袋・上中下』（文車妖妃（見開き）、古空穂、鉦五郎、弘子守、琴古主、琵琶牧々、幣六）『画図百鬼夜行』（ひょうすべ、しょうけら、河童、幽谷響、黒塚、絡新婦、反枕、ぬらりひょん）『今昔百鬼拾遺』（方相氏）『絵本百物語』（かさね、お菊虫、寝ふとり、小豆洗い、二口女、船幽霊）『化物絵巻』（ぬっぺふぼふ）『寛永年中豊後国肥田ニテ捕ル水虎之図』 計21点
24	原板使用	株式会社 Gakken	ジョルジュ・ピゴー『魚釣り遊び（漁夫の利）』2点
25	原板使用	株式会社増進堂	ジョルジュ・ピゴー『魚釣り遊び（漁夫の利）』1点
26	原板使用	NHK エンタープライズ	北斎漫画十篇「役小角」1点
27	原板使用	合同会社ミカブックス	ジョルジュ・ピゴー『魚釣り遊び（漁夫の利）』2点、『メンザレ号の救出』2点
28	原板使用	株式会社丹青社	ジョルジュ・ピゴー『メンザレ号の救出』1点
29	原板使用	長崎純心大学	『THE JAPAN PUNCH』1873年10月号15ページ目 1点
30	原板使用	株式会社 KADOKAWA	河鍋曉斎『狂歌百鬼夜興』の「狸の腹鼓」1点
31	原板使用	臨港中学校区地域教育会議	学校給食レプリカ写真 9点
32	原板使用	タイム・アロー株式会社	「保永堂版東海道」、「五十三次名所図会」、「隸書東海道（川崎）初代広重」、「行書東海道（初代広重）」各1点計4点
33	原板使用	株式会社増進堂	ジョルジュ・ピゴー『魚釣り遊び（漁夫の利）』、『メンザレ号の救出』、『社交界に出入りする紳士淑女』各1点計3点
34	原板使用	株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ	『百鬼徒然袋・下』（鳴釜）2点
35	原板使用	静岡市	葛飾北斎「北斎漫画七編」14コマ目 2点
36	原板使用	横浜市立歴史博物館	池上家文書横浜村海辺新開場見立絵図、池上家文書武州荏原郡萩谷村下より久良岐郡戸部村下迄海辺通新開場分間絵図、各1点計2点

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
37	原板使用	有限会社アート・エフ	ジョルジュ・ピゴール『魚釣り遊び（漁夫の利）』、『メンザレ号の救助』各2点計4点
38	原板使用	関西大学総合情報学部	上条与茂太郎『大日本帝室御尊影』1点
39	原板使用	妖怪美術館	竹原春泉『絵本百物語』（小豆洗い）、鳥山石燕『画図百鬼夜行 陰』の表紙と河童・獺（見開きページ）、あかなめ・狸（見開きページ）『画図百鬼夜行 陽』高女・手の目（見開きページ）『画図百鬼夜行 風』しょうけら・ひょうすべ（見開きページ）、わいら・おとろし（見開きページ）、赤舌・ぬっぺらぼう（見開きページ）各1点計14点
40	原板使用	株式会社増進堂	ジョルジュ・ピゴール『魚釣り遊び（漁夫の利）』1点
41	原板使用	一般財団法人川崎市まちづくり公社	「タンカーの在る風景」、「川崎区役所開設」各1点計2点
42	原板使用	株式会社ベネッセコーポレーション	ジョルジュ・ピゴール『魚釣り遊び（漁夫の利）』1点
43	原板使用	平塚市博物館	祐之地震道記3点
44	原板使用	サイバー・ネット・コミュニケーションズ株式会社	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京バック』1937年新年号）5点
45	原板使用	有限会社 STORK	山名文夫『NIPPON』1号表紙、河野鷹思『NIPPON』2号表紙、河野鷹思『NIPPON』7号表紙 各1点計3点
46	撮影	（個人）	早坂暁脚本 65点
47	原板使用	大妻多摩中学高等学校	ジョルジュ・ピゴール『魚釣り遊び（漁夫の利）』2点
48	原板使用	（個人）	北斎漫画 三篇 各2点計4点
49	原板使用	大妻多摩中学高等学校	ジョルジュ・ピゴール『メンザレ号の救助』2点
50	原板使用	株式会社クロノクリエイト	加藤悦郎「巷説行革風景」（『東京バック』1937年新年号）1点
51	原板使用	株式会社早稲田大学アカデミックソリューション	ジョルジュ・ピゴール『魚釣り遊び（漁夫の利）』1点
52	原板使用	日本放送協会 知財センター アーカイブス部	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《ムーラン・ルーージュのラ・グーリュ》1点
53	原板使用	有限会社三猿舎	中村進平『滑稽欧亜外交地図』1点

#### ■被災関係画像利用 4件（原板使用4件）

No.	利用区分	利用先	申請資料・作品名（作家名）
1	原板使用	株式会社 東京光音	被災画像 4点
2	原板使用	（個人）	被災画像 5点
3	原板使用	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構	被災画像 9点
4	原板使用	東洋美術学校	被災画像 4点

# 調査・研究



# 調査・研究

## 1. 調査研究

### <調査>

- ・企画展「川崎宿展」に関する資料調査（川崎市公文書館）（菊地）
- ・企画展「昔のくらしと道具たちー衣・食・住の移り変わりー」に関する資料調査（川崎市大山街道ふるさと館）（谷・林・菊地）
- ・史跡めぐり「柿めぐる道ーみんなで伝える！昔ばなしと寺社めぐりー」に関する資料調査及び聞き取り調査（谷・林・菊地）
- ・川崎市大山街道ふるさと館「ふるさと探求講座」に関する資料調査及び聞き取り調査（川崎市大山街道ふるさと館、個人蔵資料）（菊地）
- ・宮前市民館自主学級「宮前を知ろう 歩こう 楽しもう」に関する資料調査及び聞き取り調査（横浜市立図書館、鈴木藤助日記を読む会、宮前区）（鈴木・菊地・谷）

## 2. 出版

### 『川崎市市民ミュージアム紀要』第36集

- ・事業報告「川崎市市民ミュージアム収蔵品レスキューにおける環境整備について」（佐藤）
- ・事業報告「川崎市市民ミュージアムにおけるオンライン形式の事業について」（杉浦）
- ・研究ノート「大正末期・昭和戦前期における地域スポーツと「スポーツ観」ー川崎地域中原および生田青年団の協議会(運動会)を中心にー」（霜村）

### <寄稿>

- ・「鉄道開業一五〇年と鉄道展」『交通史研究』(103), 66-73 2023年9月（鈴木）
- ・「みえない被災ー教育普及の現場からー」『令和4年度全国美術館会議 第37回学芸員研究会報告書 美術館の防災対策』一般社団法人全国美術館会議 2023年3月（奈良本）

## 3. 職員の派遣

- 4月9日 「戦前日本のミッション建築家たち」宇都宮美術館講義室 「二つの教会をめぐる石の物語」記念講演会（鈴木）
- 4月26日、12月1日 「横浜幕末維新史研究会」横浜開港資料館 研究会への出席（菊地）
- 5月24日 「川崎大師参詣の歴史ー明治以降を中心にー」東海大学かわさき宿交流館 かわさき市民アカデミー講座（鈴木）
- 6月10日 「新鶴見操車場と武蔵野線」清瀬市郷土博物館 第30回テーマ展示「武蔵野線開業50周年ー清瀬を駆け抜ける武蔵野線ー」記念講演会「地域史からみる武蔵野線」（鈴木）
- 6月13日 「被災時における作品保存・管理について 川崎市市民ミュージアムでの現状と対策」文化財虫菌害研究所 研修会(佐藤)
- 7月31日 「中原街道から見るなかはらの歴史ー小杉・丸子地区を中心にー」中原区役所 令和5年度なかはらの魅力発信講座ーボランティアガイド養成講座ー（谷）
- 8月24日、8月25日、8月28日、8月29日 「古文書洗浄ワークショップ」東海大学松前記念館〈歴史と未来の博物館〉東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協同による被災資料レスキュー事業（菊地・谷）
- 9月22日、23日 「全国コミュニティシネマ会議2023 in 高崎」分科会「Fシネマプロジェクト：フィルムの可能性 ～映画の魅力を知ってもらうための試み」（郷田）
- 10月16日 「橘樹郡の「茶業」と鈴木藤助家」てくのかわさき第4研修室 鈴木藤助日記を読む会「報告」（菊地）
- 10月22日、10月29日、11月5日 「大名の川崎宿止宿と関札ー鍋島肥前守直正宿所関札狼藉一件」についてー東海大学かわさき宿交流館 令和5年度川崎市公文書館「古文書講座」（菊地）
- 11月1日 「多摩川砂利の近代史 採取と輸送」新百合21ビルB2会議室 かわさき市民アカデミーアジア航測連携講座「赤色立体地図」が解き明かす かわさき ～地形の成り立ちと特徴～（鈴木）
- 11月3日 「近代日本と高津の女性」川崎市大山街道ふるさと館 企画展「高津で生きた女性たち」記念講演会（霜村）

- 11月10日 「地域の民話を学び絵やことばで残そう 第1回講座」岡上分館 令和5年度市民エンパワーメント研修2(林)
- 11月12日 「江戸時代の庶民のくらしー鎌倉街道に沿って初山・菅生を歩くー」川崎市宮前区内(初山～菅生) 令和5年度宮前市民館市民自主学級「宮前を知ろう 歩こう 楽しもう」(谷)
- 11月26日 長尾から宿河原ー村々の産物と鈴木藤助家(茶業)・関山五郎右衛門家(養蚕)ー」川崎市宮前区・多摩区内(神木本町～宿河原) 令和5年度宮前市民館市民自主学級「宮前を知ろう 歩こう 楽しもう」(菊地)
- 11月29日 「川崎市市民ミュージアムにおける固着文書類の状態と開披について」九州国立博物館 水損固着文書開披に関わる研究会(谷・佐藤)
- 12月1日 日本写真学会 令和5年度 画像保存セミナー講演「令和元年東日本台風によるコレクション被災ー川崎市市民ミュージアムでの写真レスキューについてー」(中野)
- 12月10日 「江戸時代の終焉と明治新政府」宮前市民館 令和5年度宮前市民館市民自主学級「宮前を知ろう 歩こう 楽しもう」(鈴木)
- 12月17日 「江戸・明治時代における商品生産と流通ー大山街道を通してー」川崎市大山街道ふるさと館 令和5年度川崎市大山街道ふるさと館「ふるさと探究講座」(菊地)
- 2月15日、2月16日、2月19日、2月20日  
「古文書洗浄ワークショップ」東海大学松前記念館(歴史と未来の博物館) 東海大学と川崎市市民ミュージアムとの協同による被災資料レスキュー事業(菊地・谷)
- 2月18日 「ポスターセッション」一橋大学 東キャンパス 第10回全国史料ネット研究交流集会in首都圏(谷)
- 3月13日 全国美術館会議 広報委員会会合(杉浦)
- 3月17日 「橘樹郡における近代的「茶業」経営の萌芽」神奈川県立歴史博物館講堂 令和5年度神奈川県立歴史博物館コレクション展「藤助さんと幕末」講演会「村に残る日記から何が分かるかー地方から見る近世・近代の転換ー」(菊地)

#### 4. 研修

- 5月10日 「博物館法改正」とこれからの博物館」神奈川県立歴史博物館 令和5年度神奈川県博物館協会「第1回研修会」(菊地)
- 6月21日 「『大地と人のものがたり』をテーマとしてオープンした『茅ヶ崎市博物館』の見学と解説」茅ヶ崎市博物館 令和5年度神奈川県博物館協会「第2回研修会」(菊地)
- 10月3日 「関東大震災100年博物館の災害教訓」相模原市立博物館 神奈川県博物館協会「第3回研修会」(菊地)
- 11月15日、11月16日  
「第71回全国博物館大会」千葉市文化センターアートホール 令和5年度日本博物館協会「第71回博物館大会」(菊地)
- 12月4日 「RDUF公開シンポジウム2023」科学技術振興機構東京本部別館1Fホール RDUF事務局(RDUF総会・公開シンポジウム事務局)「公開シンポジウム2023」(菊地)
- 12月24日 「博物館におけるデジタルアーカイブの理論と実践」小田原市生涯学習センターけやき2階大会議室 神奈川県博物館協会「第4回研修会」(菊地)
- 1月12日 「漆工資料応急処置技術研修会」陸前高田市立博物館生出収蔵庫 東北発 博物館・文化財等防災力向上プロジェクト(林・谷)
- 2月27日 「防災訓練(情報伝達訓練)・緊急搬出訓練見学会」神奈川県立歴史博物館 令和5年度神奈川県博物館協会「防災研修」(菊地)
- 3月12日 全国美術館会議 関東ブロック神奈川支部 緊急連絡網訓練(杉浦)

#### 5. 視察

- ・東洋美術学校 見学研修(2023年7月28日)

#### 6. 被災収蔵品レスキュー報告プロジェクト

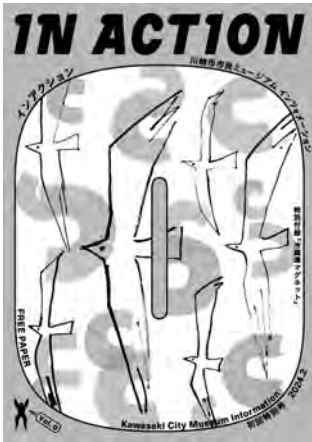
- ・川崎市市民ミュージアムの被災と収蔵品レスキューに関する報告冊子(2024年3月)

広報





## 広報〈広報誌の発行〉



IN ACTION 川崎市市民ミュージアムインフォメーション誌 初回特別号 2024年2月6日発行

当館の現在の活動をお知らせするための広報誌を新たに発行した。  
初回特別号では事務所移転や学芸員のコラム等を掲載するほか、冷蔵庫マグネット3種のうち1種をランダムに貼り付けて配布した。  
また、くぼたまこと氏による「天体戦士サンレッド N」とのコラボ漫画の連載も始めた。

## 広報〈掲載メディア〉

### 1. 展覧会

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
オンライン展覧会 「あっけなく明快な絵画と彫刻、続いているわからない絵画と彫刻」	1	雑誌	株式会社新潮社	芸術新潮 5月号	2023/04/25
	2	Web	株式会社産業経済新聞社	産経新聞	2023/05/07
昔のくらしと道具たち -衣・食・住の移り変わり-	1	書籍	株式会社吉川弘文館	日本歴史 2023年6月号	2023/05/25
	2	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/05/26
	3	Web	アクトインディ株式会社	いこーよ	2023/5/29
	4	フリーペーパー	川崎市大山街道ふるさと館	ふるさと館だより	2023/6/5
	5	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 7月号	2023/6/15
	6	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/6/24
	7	新聞	株式会社中日新聞社	東京新聞	2023/6/26
	8	Web	株式会社 KADOKAWA	ヨメルバ	2023/7/14
オンライン展覧会 「新民謡と町おこし -多摩川音頭と川崎地域-」	9	TV	イツ・コミュニケーションズ株式会社	イツコム地モト NEWS	2023/7/26
	10	TV	株式会社テレビ神奈川	LOVE かわさき	2023/7/29
	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2023/7/27
	2	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/7/28
川崎宿 -1623~2023-	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/8/01
	4	フリーペーパー	株式会社サンケイリビング新聞社	リビング田園都市・シティリビング横浜版	2023/9/29
	5	新聞	株式会社中日新聞社	東京新聞	2023/11/06
	6	その他	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第59巻 第2号	2024/1/25
	1	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 10月号	2023/9/13
	2	その他	神奈川県 政策局 知事室	かながわ 県のたより 10月号 No.823	2023/10/1
オンライン展覧会 「大島康幸展」	3	雑誌	株式会社吉川弘文館	日本歴史 2023年10月号	2023/10/1
	4	Web	日本経済新聞社	日本経済新聞(電子版)	2023/10/19
	5	TV	株式会社テレビ神奈川	カナフルTV	2023/10/29
	6	TV	YOUテレビ株式会社	大学生街歩きバラエティ「かわスキ」	2023/12/1~
	1	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/10/05
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネット TAM	2023/10/05
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/10/11
	4	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 11月号	2023/10/16
	5	新聞	株式会社中日新聞社	東京新聞	2023/10/23
6	その他	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第59巻 第1号	2023/12/25	
7	新聞	株式会社神奈川新聞社	神奈川新聞	2024/1/19	
8	その他	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第59巻 第2号	2024/1/25	
9	フリーペーパー	株式会社サンケイリビング新聞社	リビング田園都市・シティリビング横浜版	2024/1/26	

展覧会名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
オンライン展覧会 「折元立身 生活を感じる、おもしろい作品が生まれた。 1946-2024」	1	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネットTAM	2023/1/24
	2	Web	株式会社イープラス	チラシミュージアム	2024/1/24
	3	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2024/1/26
	4	Web	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	ウェブ版「美術手帖」	2024/2/6
	5	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2024/2/7
	6	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 3月号	2024/2/13
	7	フリーペーパー	株式会社中日新聞社	東京新聞 TODAY	2024/2/23
	8	その他	川崎市	かわさき市政だより 3月号	2024/3/1
	9	Web	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	ウェブ版「美術手帖」	2024/3/8
	10	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 4月号	2024/3/14
第 57 回 かわさき市美術展	1	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/6/13
	2	Web	株式会社公募ガイド社	koubo	2023/6/14
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/6/19
	4	Web	株式会社谷口松雄堂	ゆめ画材	2023/6/20
	5	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	ばらあーとねっと	2023/6/21
	6	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	ばらあーとねっと Instagram	2023/6/21
	7	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	ばらあーとねっと Facebook	2023/6/21
	8	Web	スターフィールド株式会社	コンペナビ	2023/6/22
	9	その他	川崎市	かわさき市政だより 8月号	2023/8/1
	10	フリーペーパー	株式会社中日新聞社	東京新聞 TODAY 第 1433 号	2024/9/15
	11	Web	ミュージアム川崎シンフォニーホール	ミュージアム川崎シンフォニーホール ウェブサイト	2023/11/6
	12	Web	ミュージアム川崎シンフォニーホール	ミュージアム川崎シンフォニーホール ウェブサイト	2023/12/1
	13	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 1月号	2023/12/12
	14	TV	YOUテレビ株式会社	地域情報番組 My You!	2023/12/18
	15	その他	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第 59 巻 第 1 号	2023/12/25
	16	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/12/28
	17	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/12/28
	18	Web	川崎市社会福祉協議会 ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク	かわさき福祉情報サイト ふくみみ	2023/12/28
	19	Web	株式会社イープラス	チラシミュージアム	2023/12/28
	20	その他	川崎市	かわさき市政だより 1月号	2024/1/1
	21	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	ばらあーとねっと	2024/1/10
	22	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	ばらあーとねっと Instagram	2024/1/10
	23	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	ばらあーとねっと Facebook	2024/1/10
	24	新聞	株式会社神奈川新聞社	神奈川新聞	2024/1/12
	25	新聞	株式会社読売新聞東京本社	読売新聞	2024/1/26
	26	雑誌	株式会社アートツリー出版社	『PHOTOSAI』Vol.44	2024/3/27
川崎市市民ミュージアム ー誕生と軌跡ー	1	雑誌	株式会社吉川弘文館	日本歴史 2023 年 10 月号	2023/10/1
	2	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 2月号	2024/1/16
	3	Web	株式会社イープラス	チラシミュージアム	2024/1/18
	4	Web	株式会社イベントバンク	イベントバンク	2024/1/18
	5	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団	2024/1/18
	6	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2024/1/18
	7	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネットTAM 情報掲示板	2024/1/18
	8	Web	NPO 法人 k-press	k-press	2024/1/22
	9	その他	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第 59 巻 第 2 号	2024/1/25
	10	新聞	株式会社読売新聞東京本社	読売新聞	2024/2/23
	11	その他	公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 第 59 巻 第 3 号	2024/2/25

## 2. 上映

事業名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
川崎市市民 ミュージアム出張 タヤげ上映会	1	その他	川崎市	かわさき市政だより 8月号	2023/8/1
	2	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/8/17
	3	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/8/18
	4	Web	株式会社神奈川新聞社	カナロコ 神奈川新聞	2023/8/22
アニメ あらかると! 音楽とフィルムが奏でる アニメーションの世界	1	Web	「映像のまち・かわさき」 推進フォーラム	「映像のまち・かわさき」推進フォーラム Web サイト	2024/1/23
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネットTAM 情報掲示板	2024/2/1
	3	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2024/2/1
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2024/2/7
	5	TV	株式会社テレビ神奈川	猫のひたいほどワイド	2024/2/8

## 3. 普及

イベント名	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
昔のおもちゃで 遊んでみよう!	1	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/5/26
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/6/24
	3	TV	イツ・コミュニケーションズ 株式会社	イツコム地モト NEWS	2023/7/24
さわれるシネマ ～8ミリフィルムカメラで撮影 と現像をしてみよう～	1	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/5/26
	2	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/6/24
川崎市市民 ミュージアム講座 (オンライン)	1	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 8月号	2023/7/14
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネットTAM	2023/7/27
	3	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/7/28
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/8/1
	5	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 9月号	2023/8/10
ねんどでふえいくふあー	1	フリーペーパー	百合丘子ども文化センター	ゆりこぶんだより 10月号	2023/10/1
	2	Web	トヨタ・企業メセナ協議会	ネットTAM	2023/10/6
	3	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/10/6
	4	Web	川崎市	かわさきイベントアプリ	2023/10/11
オンラインセミナー 「工芸のはなし 日常の発見 ーつくる・みる・つかうー」	1	Web	公益財団法人 川崎市文化財団	川崎市生涯学習財団 HP	2023/12/28
「ARTRIP (アートリップ)」	1	Web	LINE ヤフー株式会社	Yahoo! ニュース	2024/1/20
	2	Web	NPO 法人しんゆり・芸術のまちづ くり	しんゆり・芸術のまち	2024/2/13
史跡めぐり 「柿めぐる道」 ーみんなで伝える! 昔ばなしと 寺社めぐりー	1	Web	LINE ヤフー株式会社	Yahoo! エキスパート	2024/2/4
	2	フリーペーパー	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 麻生区版	2024/3/22
	3	フリーペーパー	株式会社エリアブレイン	MYTOWN	2024/3/29

#### 4. 川崎市市民ミュージアム オンラインショップ

名称	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
川崎市市民ミュージアム オンラインショップ	1	Web	武蔵小杉ライフ	武蔵小杉ブログ	2023/4/15
	2	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 5月号	2023/4/14
	3	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 6月号	2023/5/16
	4	新聞	株式会社中日新聞社	東京新聞	2023/9/2
	5	フリーペーパー	公益財団法人 川崎市文化財団	かわさきアートニュース 12月号	2023/11/14
	6	その他	川崎市	かわさき市政だより 12月号	2023/12/1

#### 5. その他

内容	No.	種別	媒体社名	媒体名	日付
フィルムは生きている 広島 市映像文化ライブラリー 40年 「川崎と連携 被災ネガ修復」	1	新聞	株式会社中国新聞社	中国新聞	2023/5/27
ワークショップ 「ミュージアム・市民ミーティング」	1	Web	本気メディア株式会社	号外 NET 川崎市多摩区	2023/9/28
新たなミュージアム整備 川崎市 市民アンケート実施中	1	Web	株式会社タウンニュース社	タウンニュース 宮前区版	2023/11/10

資料



令和5年度歳出予算（川崎市市民ミュージアム関連）

単位：千円

事業名等	予算額	備考
市民ミュージアム事業費	891,276	
市民ミュージアム施設管理経費	164,552	
01 報酬	1,986	会計年度任用職員報酬
03 職員手当等	70	
08 旅費	501	普通旅費等
10 需用費	31,450	電気料・水道料等
11 役務費	431	電話料・郵便料等
12 委託料	106,445	旧市民ミュージアム施設管理委託料等
13 使用料及び賃借料	12,000	市民ミュージアムの土地借上料等
14 工事請負費	11,454	作品等移設工事費等
17 備品購入費	1	
18 負担金補助及び交付金	214	博物館・美術館関係団体会費等
市民ミュージアム運営事業費	436,229	
07 報償費	1,262	かわさき市美術展賞賜金等
10 需用費	290	修繕料等
11 役務費	5,000	保険料
12 委託料	428,473	市民ミュージアム学芸業務委託料、収蔵品管理業務委託料等
13 使用料及び賃借料	1,155	倉庫賃借料
17 備品購入費	1	
22 償還金、利子及び割引料	48	映像ホール特別入場券の払戻金
市民ミュージアム収蔵品修復事業費	231,368	
12 委託料	206,328	収蔵品修復委託料
17 備品購入費	1	
18 負担金補助及び交付金	25,039	外部支援団体の技術的支援に対する負担金
市民ミュージアム施設整備事業費	41,023	
03 職員手当等	540	案内標識撤去工事に係る職員手当等
08 旅費	170	案内標識撤去工事に係る普通旅費
10 需用費	480	案内標識撤去工事に係る消耗品等
12 委託料	1	
14 工事請負費	39,832	案内標識撤去工事
市民ミュージアム施設事業費	18,104	
12 委託料	1	
13 使用料及び賃借料	17,160	市民ミュージアムの家屋借上料 (R4～R12債務負担)
17 備品購入費	943	事務所移転に伴う備品購入費

## 旧施設概要（2023年10月仮設事務所に移転）

敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室	2,551㎡
博物館展示室	1,491㎡
企画展示室	1,334㎡
企画展示室 1	597㎡
企画展示室 2	590㎡
アートギャラリー	1,060㎡
ミュージアムギャラリー1・2	147㎡ (82㎡+ 65㎡)
逍遙展示空間	747㎡
映像ホール	342㎡ (266席)
ミニホール (椅子席・ビデオのみ)	57㎡ (40名)
研修室 1 (机・椅子固定)	70㎡ (24名)
研修室 2	60㎡ (30名)
研修室 3	56㎡ (36名)
収蔵庫	2,433㎡
	(9室、前室を含む)
その他	12,083㎡
ミュージアムショップ	40㎡
ラウンジ	62席
身障者設備	
トイレ	5ヶ所
車いす	4台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2台
授乳室	1室
ベビーカー	3台

## 指定文化財

神奈川県指定 1件	
鰐口 1口	
川崎市指定 24件	
紙本墨画淡彩仙女図 2幅	
青銅製鰐口 1口	
古筆手鑑「披香殿」 1帖	
後北条氏の虎の印判状 (永禄元年) 1通	
後北条氏の虎の印判状 (永禄7年) 1通	
後北条氏の虎の印判状 (天正15年) 1通	
関東下知状 附 極札 1枚 1通	
板碑 1基	
有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 坏 19箇 3組3箇	
有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 簪状骨製品 1本 3組7箇	
生田古墓群生田8601番地古墓出土火葬骨蔵器	
附 鹿角製刀子柄 1本 2組4箇	
生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1枚 1組2箇	
菅生古墓群長沢1822番地古墓出土火葬骨蔵器 2組4箇	
野川古墓群野川南耕地A地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1枚 鉄釘 13本 1組2箇	
稗原古墓群A地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 和銅開竇 1枚 1組2箇	
細山坂東谷古墳出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1枚 状骨製品 2本	
无射志国荏原評銘文字瓦 1点	
万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括	
宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括	
下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括	
梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括	
黒川の獅子頭 3頭	
大師河原の漁撈具 一括	
鷺ヶ峰遺跡旧石器時代出土品 一括	

## 設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹清訓)  
 展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

## 総工費 (当時)

建築工事費	88億円
展示工事	23億円
資料収集	21億円
運営費	10億円
合計	約150億円

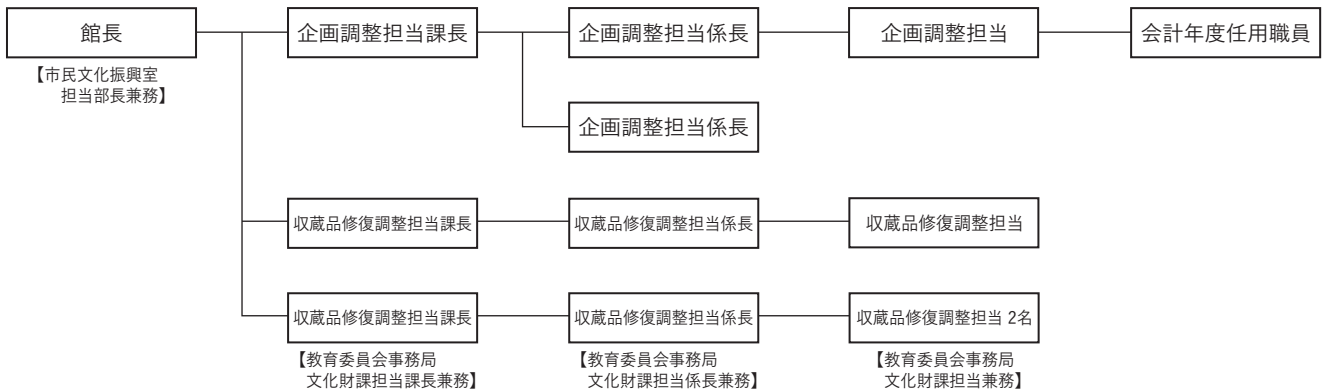
## 収蔵品

令和5年度分  
 寄贈 1件

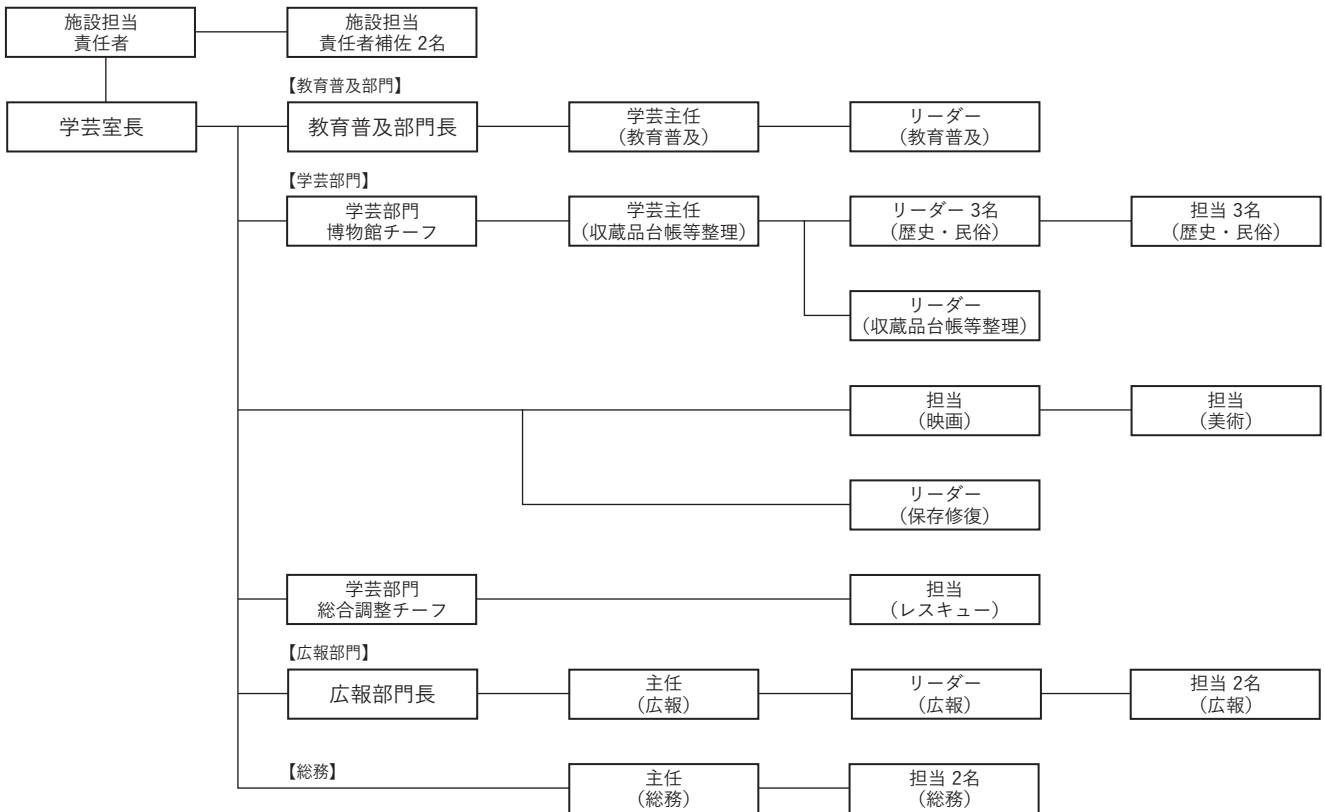
分野	収蔵品総数	収蔵品内訳	
		作品・アーカイブズ 資料・図書	寄託品
歴史	42,377	39,696	2,681
民俗	13,981	13,951	30
考古	72,072	72,053	19
美術文芸	18,120	18,107	13
グラフィック	11,037	11,037	0
写真	33,113	32,932	181
漫画	74,503	74,503	0
映画	13,301	12,808	493
映像	28,131	27,238	893
合計	306,635	302,325	4,310

(令和5年12月31日現在)

【川崎市執行体制】



【受託事業者執行体制】





## 川崎市市民文化局 川崎市市民ミュージアム

(2023年4月から2024年3月まで)

館長	蛭川 泰行
企画調整担当課長	押田 智寿代
企画調整担当係長	前田 憲造
企画調整担当係長	亀山 貴
企画調整担当	立石 諒太
会計年度任用職員	友安 正実
収蔵品修復調整担当課長	磯崎 茂
収蔵品修復調整担当係長	佐藤 秀一
収蔵品修復調整担当	渡部 和希
収蔵品修復調整担当課長	阿波 賢一郎 【教育委員会事務局文化財課担当課長兼務】
収蔵品修復調整担当係長	岡本 寛治 【教育委員会事務局文化財課担当係長兼務】
収蔵品修復調整担当	櫻井 はるえ 【教育委員会事務局文化財課兼務】
収蔵品修復調整担当	竹尾 進 【教育委員会事務局文化財課兼務】

## 受託事業者

(2023年4月から2024年3月まで)

施設担当責任者	丸山 圭
施設担当責任者補佐	尾島 孝
施設担当責任者補佐	入佐 友弥
学芸室長	佐藤 美子
教育普及部門長	奈良本 真紀
学芸部門 博物館チーフ	鈴木 勇一郎
学芸部門 美術館チーフ	新美 琢真 (～10月)
学芸部門 総合調整チーフ	中野 可南子
学芸主任(教育普及)	杉浦 央子
学芸主任(修復)	貝塚 建 (～1月)
学芸主任(収蔵品台帳等整理)	菊地 悠介
学芸リーダー(教育普及)	安尾 祥子
学芸リーダー(歴史・民俗)	谷 拓馬
学芸リーダー(歴史・民俗)	霜村 光寿
学芸リーダー(収蔵品台帳等整理)	氏家 みち江
学芸リーダー(保存修復)	羽生 佳代
学芸リーダー(歴史・民俗)	林 花音
学芸リーダー(映画)	村岡 由佳子 (～7月)
学芸員	定森 裕太郎
学芸員	橋場 佑太郎 (6月～)
学芸員	郷田 真理子 (7月～)
学芸員	Tsenka DIMITROVA (ツェンカ・ディミトロヴァ) (9月～)
学芸員	渡部 仁美 (10月～)
収蔵品レスキュー	亀上 妹以子
広報部門長	鋒山 元茂
広報主任	竹本 はるか
広報リーダー	石澤 千夏
広報	榎本 昌代
広報	田中 沙季 (9月～)
総務主任	澤口 恭子
総務	武田 智子 (～11月)
総務	木口 由紀恵 (5月～)
総務	加藤 亜弓 (6月～)

# 川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日条例第 45 号

改正

平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号  
平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号  
平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号  
平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号  
平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号  
平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号  
平成 28 年 3 月 24 日条例第 18 号  
令和 3 年 12 月 16 日条例第 81 号  
令和 5 年 6 月 30 日条例第 30 号

(目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うことにより、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市麻生区上麻生 6 丁目 15 番 2 号とする。

(事業)

第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。

- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品（以下「資料等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 資料等を熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用に供すること。
- (3) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
- (4) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
- (5) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
- (6) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
- (7) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第 4 条 市民ミュージアムに館長その他必要な職員を置く。

(損害の賠償)

第 5 条 資料等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。（昭和 63 年 10 月 7 日規則第 85 号で昭和 63 年 11 月 1 日から施行）

附 則（平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号）

この条例は、平成 6 年 10 月 17 日から施行する。

附 則（平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号）

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号）

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号）

この条例は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び別表第 1 の改正規定並びに別表第 2 の次に 1 表を加える改正規定（展示室及び遺囑展示空間に係る部分に限る。）は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

- (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
- (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
- (3) 川崎市体育館条例
- (4) 川崎市スポーツセンター条例

- (5) 川崎市武道館条例
- (6) 川崎市市民ミュージアム条例
- (7) 川崎市岡本太郎美術館条例
- (8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則（平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。
  - (1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日
  - (2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日
  - (3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日
  - (4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日
  - (5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日
  - (6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日
  - (7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日
  - (8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日
  - (9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則（平成 28 年 3 月 24 日条例第 18 号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条の次に 3 条を加える改正規定（第 3 条の 2（指定管理者に市民ミュージアムの管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に効力を有する市長の行った利用許可その他の行為で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において改正後の条例（以下「新条例」という。）の規定により当該行為に相当する行為を行うべきものが新条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）となるものは、施行日以後においては、指定管理者の行った利用許可その他の行為とみなす。
- 3 改正前の条例の規定により発行された共通利用券又は特別入場券については、新条例別表第 1 の規定にかかわらず、施行日以後引き続き使用することができる。

附 則（令和 3 年 12 月 16 日条例第 81 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の前日に支払われた観覧料（共通利用券及び特別入場券に限る。）に係る改正前の条例第 16 条の規定による返還については、なお従前の例による。この場合において、同条ただし書中「指定管理者」とあるのは、「市長」とする。

附 則（令和 5 年 6 月 30 日条例第 30 号）

この条例は、規則で定める日から施行する。（令和 5 年 9 月 29 日規則第 61 号で令和 5 年 10 月 1 日から施行）

# 川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱

令和4年1月28日付け3川市文第930号副市長専決

## (目的)

- 第1条 この要綱は、本市が川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年12月22日条例第45号）（以下「条例」という。）第3条に規定する事業の実施に係る料金の徴収等に関し必要な事項を定めるものとする。

## (観覧料)

- 第2条 市長は、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）が条例第3条第1号に規定する展示を行うにあたり、会場へ入場しようとする者から、観覧料を徴収することができる。
- 2 前項の観覧料の額は、1人につき2,000円の範囲内で市長が展覧会ごとに定める。

## (特別利用)

- 第3条 条例第3条第2号に規定する資料等の熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用（以下「特別利用」という。）については、川崎市財産規則（昭和39年4月1日規則第33号）第52条の規定及び次に定めるところにより行うものとする。
- 2 特別利用をしようとする者は、特別利用申込書（第1号様式）を市長に提出し、承認を受けなければならない。
- 3 市長は、特別利用を承認したときは、申請をした者に特別利用承認通知書（第2号様式）を交付する。
- 4 市長は、特別利用を承認するときは、次に掲げる条件を付することができる。
- (1) 特別利用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、市民ミュージアムの所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得た画像データ等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他市長が必要と認める事項
- 5 市長は、次に掲げる資料等については、特別利用を承認しない。
- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
- (4) その他市長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 6 特別利用に関する連帯保証人は不要とする。
- 7 市長は、第2項の承認を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上の支障があると認めるときは、当該承認を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。
- 8 市長の承認を受けた者は、次に定める区分に応じ、特別利用料を利用期間内に納付しなければならない。ただし、特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

区 分	単 位	特別利用料
熟 覧	1 点 1 日	200 円
模 写		1,000 円
模 造		1,000 円
拓 本		1,000 円
撮 影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

- 9 特別利用は、市長の指示に従って行わなければならない。

## (受講料及び入場料)

- 第4条 市長は、条例第3条第3号に規定する事業を行うにあたり、講座、講演会、研究会等に参加しようとする者から受講料を、映画会に入場しようとする者から入場料を徴収することができる。
- 2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

## (観覧料等の減免)

- 第5条 市長は、特に必要があると認めるときは第2条第1項に規定する観覧料、第3条第8項に規定する特別利用料及び第4条第1項に規定する入場料（以下「観覧料等」という。）を次のとおり免除することができる。

### (1) 観覧料及び入場料

- ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動の場合
- イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動の場合
- ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）の場合

### (2) 特別利用料

- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合
- イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合
- ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合

- 2 市長は、前項の規定によるほか、特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。
- 3 前2項の規定による観覧料等の減額又は免除を受けようとする場合は、あらかじめ市長に申請しなければならない。ただし、第1項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請に代えることができる。また、第1項第2号の場合にあっては、特別利用料減免申請書（第3号様式）を使用するものとする。

（観覧料等、受講料の返還）

第6条 既に支払われた観覧料等及び第4条第1項に規定する受講料は、返還しない。ただし、次に掲げる場合は、市長はその全部又は一部を返還することができる。

- (1) 災害その他の事故により当該利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の承認を取り消した場合 全額
- (3) 前2号に定めるもののほか、市長が正当な理由があると認める場合 市長が認める額

（その他）

第7条 この要綱の実施について必要な事項は、市長が定める。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

## 川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会開催運営等要綱

令和4年10月27日付け4川市ミ第288号局長専決

### (趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

### (目的)

第2条 市長は、川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品（以下「資料等」という。）の適正かつ公正な収集等を図るため、次に掲げる事項について、懇談会の委員の意見を求める。

- (1) 収集を予定する資料等の資料収集方針との適合性に関すること。
- (2) 収集を予定する資料等の学問的価値に関すること。
- (3) 収集を予定する資料等の芸術性に関すること。
- (4) 収集を予定する資料等の真贋性に関すること。
- (5) その他必要な事項に関すること。

### (懇談会の開催)

第3条 懇談会は、次の各号の場合において開催する。

- (1) 価格が100万以上であると見込まれる資料等を購入する場合
- (2) 文化財指定が見込まれる資料等の寄贈受入や購入の場合
- (3) コレクションや一定程度まとまりのある資料等の寄贈受入で、懇談会の委員に意見を求めることが適当であると考えられる場合
- (4) その他市長が懇談会の委員に意見を求める必要があると認める場合

### (委員)

第4条 懇談会の委員は、専門的知識等を有する者2名以上をもって構成し、就任を依頼する。

- 2 委員の任期は、就任の日から前条に規定する懇談会の終了までの期間とする。

### (守秘義務)

第5条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

### (庶務)

第6条 懇談会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

### 附 則

この要綱は、令和4年10月27日から施行する。

## 川崎市市民ミュージアム資料等評価懇談会開催運営等要綱

令和5年1月19日付け4川市ミ第411号局長専決

### (趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市市民ミュージアム資料等評価懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

### (目的)

第2条 市長は、川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品（以下「資料等」という。）の適正かつ公正な収集等を図るため、次に掲げる事項について、懇談会の委員の意見を求める。

- (1) 収集を予定する資料等の真贋の鑑定に関すること。
- (2) 収集を予定する資料等の購入価格の評価に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

### (懇談会の開催)

第3条 懇談会は、必要に応じて開催することとする。

### (委員)

第4条 懇談会の委員は、専門的知識等を有する者2名以上をもって構成し、就任を依頼する。ただし、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会委員と併任することはできない。

- 2 委員の任期は、就任の日から前条に規定する懇談会の終了までの期間とする。

### (守秘義務)

第5条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

### (庶務)

第6条 懇談会の庶務は、川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

### 附 則

この要綱は、令和5年1月19日から施行する。

# 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

令和4年9月26日 4川市ミ第226号局長専決

## (趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号。以下「規則」という。）第6条に基づき設置する川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会（以下「市民ミュージアム部会」という。）について、川崎市文化芸術振興条例（平成17年3月24日条例第8号。以下「条例」という。）及び規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

## (所掌事務)

第2条 市民ミュージアム部会の所掌事務は、次のとおりとする。  
(1) 川崎市市民ミュージアムの事業評価に関すること  
(2) その他川崎市市民ミュージアムの円滑な運営に関すること

## (組織等)

第3条 市民ミュージアム部会は、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の会長から指名された振興会議委員及び臨時委員によって構成する。  
2 市民ミュージアム部会員の任期は、振興会議委員と同一とする。  
3 任期の途中で部会員に欠員が出た場合は、振興会議会長が補欠の委員を指名するものとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (庶務)

第4条 市民ミュージアム部会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

## (その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、市民ミュージアム部会の運営に必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

## 附 則

この要綱は、令和4年10月1日から施行する。

# かわさき市美術展懇談会開催運営等要綱

令和4年6月9日 4川市ミ第113号局長専決

(趣旨)

第1条 この要綱は、かわさき市美術展懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市民文化局長は、かわさき市美術展（以下「美術展」という。）の開催にあたり、次に掲げる事項について、懇談会の委員の意見を求める。

- (1) 本市の文化振興上、より効果的な美術展とする取組に関する事。
- (2) 展示及び会場運営に関する事。
- (3) その他必要な事項に関する事。

(委員等)

第3条 懇談会の委員は、次に掲げる者の中から4名以内に就任を依頼し、構成する。

- (1) 美術作家または美術評論家
  - (2) 学識経験者
  - (3) 川崎市文化団体関係者
  - (4) 学校美術教育関係者
- 2 委員の任期は、就任の日から当該年度の3月31日までとし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第4条 懇談会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

附 則

この要綱は、令和4年6月15日から施行する。





